

## 地域別構想の検討（２） <地域づくりの目標>

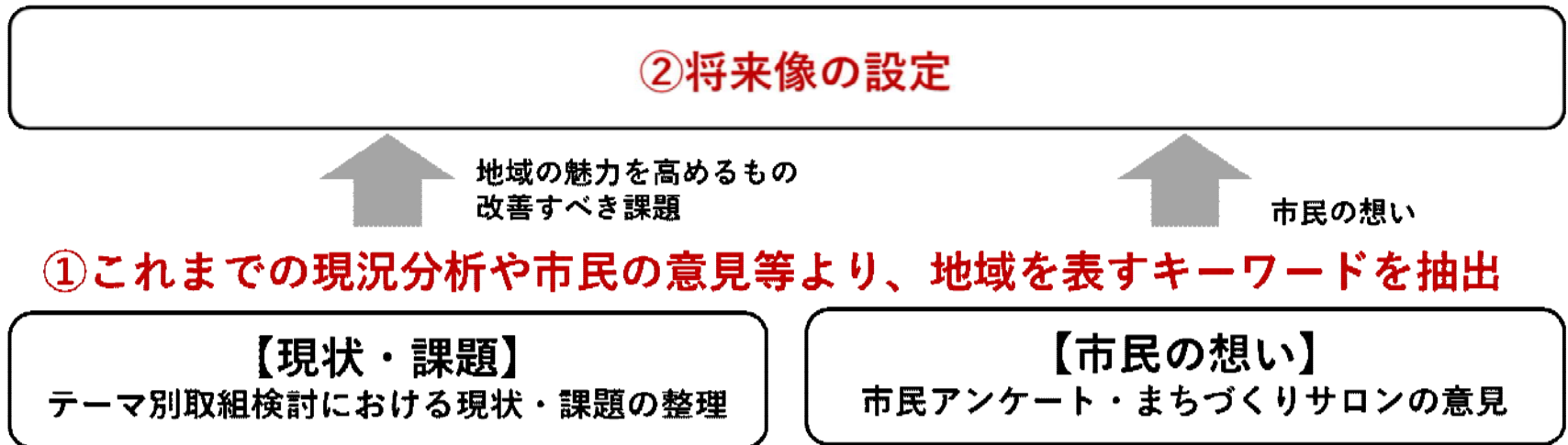
### 1. 地域別の将来像と方針図の検討プロセスの説明

#### （１）地域別の将来像の検討プロセスの説明

各地域に将来像を以下のステップで検討しました。

- ① これまで整理した「現状分析」や「市民アンケートやまちづくりサロンでの意見」等の把握から、各地域の特徴を表す主なキーワードやまちづくりに対する市民の想いを抽出します。
- ② ①のキーワードや市民の想いを踏まえ、取組により実現された地域の姿が将来像に表現されることを念頭に置きつつ、地域らしさを表現するため、他の地域にもあてはまりやすい普遍的なキーワードよりも、地域の特徴が表現されているものに重きを置いて、将来像の文言を設定します。

### 〇〇地域の将来像

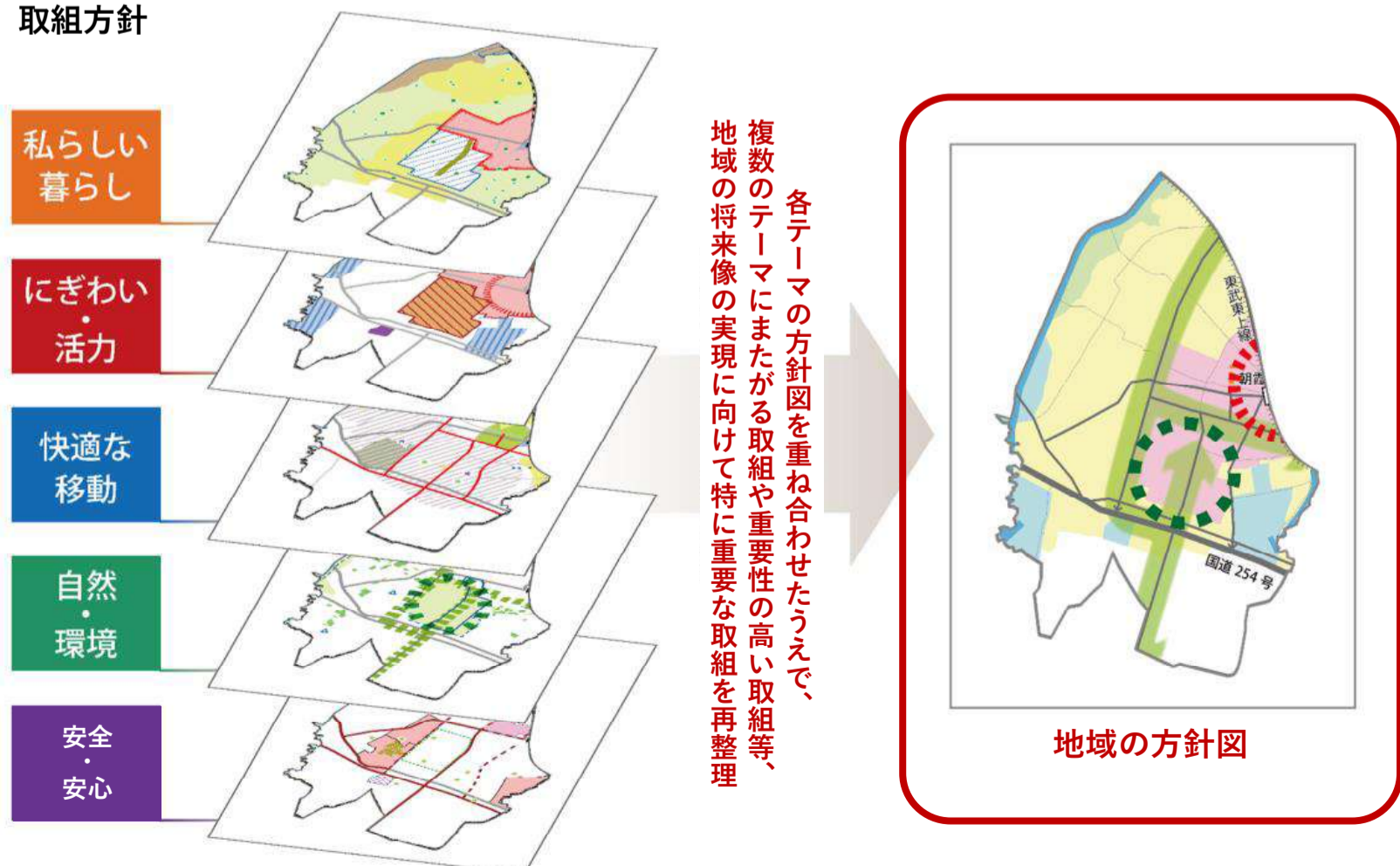


#### （２）地域別の方針図の検討プロセス

- 各地域の方針図は各テーマの取組方針を重ね合わせたうえで、複数のテーマにまたがる取組や重要性の高い取組等を抽出し、地域の将来像の実現に向けて特に重要な取組を再整理したものと描きます。
  - 複数のテーマに関連する取組<sup>※</sup>も存在することから、取組がどのテーマに関連するものなのかがわかるよう、取組の文言の後にテーマを表すアイコンを追加しました。
- ※ 例えば、国道 254 号バイパスの整備であれば、テーマ「にぎわい・活力」における産業の活性化と、テーマ「快適な移動」における幹線道路ネットワークの形成、テーマ「安全・安心」における広域的な緊急輸送道路の確保と 3つの役割を担っていることから、この取組の場合、「にぎわい・活力」と「快適な移動」、「安全・安心」の 3つのアイコンが付くことになります。

#### ■地域の方針図設定の考え方（南部地域を例としたイメージ）

#### 各テーマの 取組方針



2-1. 地域別の将来像と方針図の検討【内間木地域】

内間木地域の将来像

- ① 水害による浸水リスクや交通安全に対する対策の充実により、誰もが安全・安心に過ごせる環境を確保します。
- ② 荒川や新河岸川といった河川や農地等のみどりが残る豊かな自然環境を適切に維持・活用を図ります。
- ③ 国道254号バイパスの整備による沿道活用のポテンシャルや朝霞水門、調整池などを活かした産業の活性化を図ります。

①安全・安心な環境をつくり、②河川とみどりを親しみ守り  
③254バイパスのポテンシャルとランドマークを活かす内間木地域

↑ 地域の魅力を高めるもの  
改善すべき課題

<現況・課題>

各テーマの現状・課題（凡例 ○：良いところ、▲：改善すべき課題）

**【安全・安心】**

- ▲浸水想定区域内に要配慮者施設が立地
- ▲浸水想定区域に住宅地が点在
- ▲広域的な緊急輸送道路の未整備
- ▲水害時の避難場所が限定的
- ▲内水氾濫による通行止め

**【快適な移動】**

- 市内循環バスの適正な見直し
- ▲都市計画道路が未整備
- ▲交通事故が多数発生
- ▲主要生活道路における交通安全対策の不足

**【自然・環境】**

- 豊かな自然環境の分布
- 良好な水辺空間を有する河川敷の存在
- 朝霞調整池の存在
- 優良農地の点在
- ▲資材置場等による景観の悪化
- ▲河川敷の適切な維持管理・活用

**【にぎわい・活力】**

- 来訪者を呼び込む地域資源が点在
- 国道254バイパスの整備
- ▲市街化調整区域としての課題

**【私らしい暮らし】**

- 教育・文化・福祉施設の立地
- 国道254号バイパスの整備
- 自然が豊か
- ▲地域全域が市街化調整区域
- ▲公共施設等が少ない

↑ 市民の思い

<市民の思い>

**【市民アンケートより】**

○大切に思う場所

- ・公共施設（図書館、体育館、博物館等）
- ・北朝霞・朝霞台駅周辺
- ・荒川・新河岸川

○住まいの近くの地域に  
あったらいいと思う場所

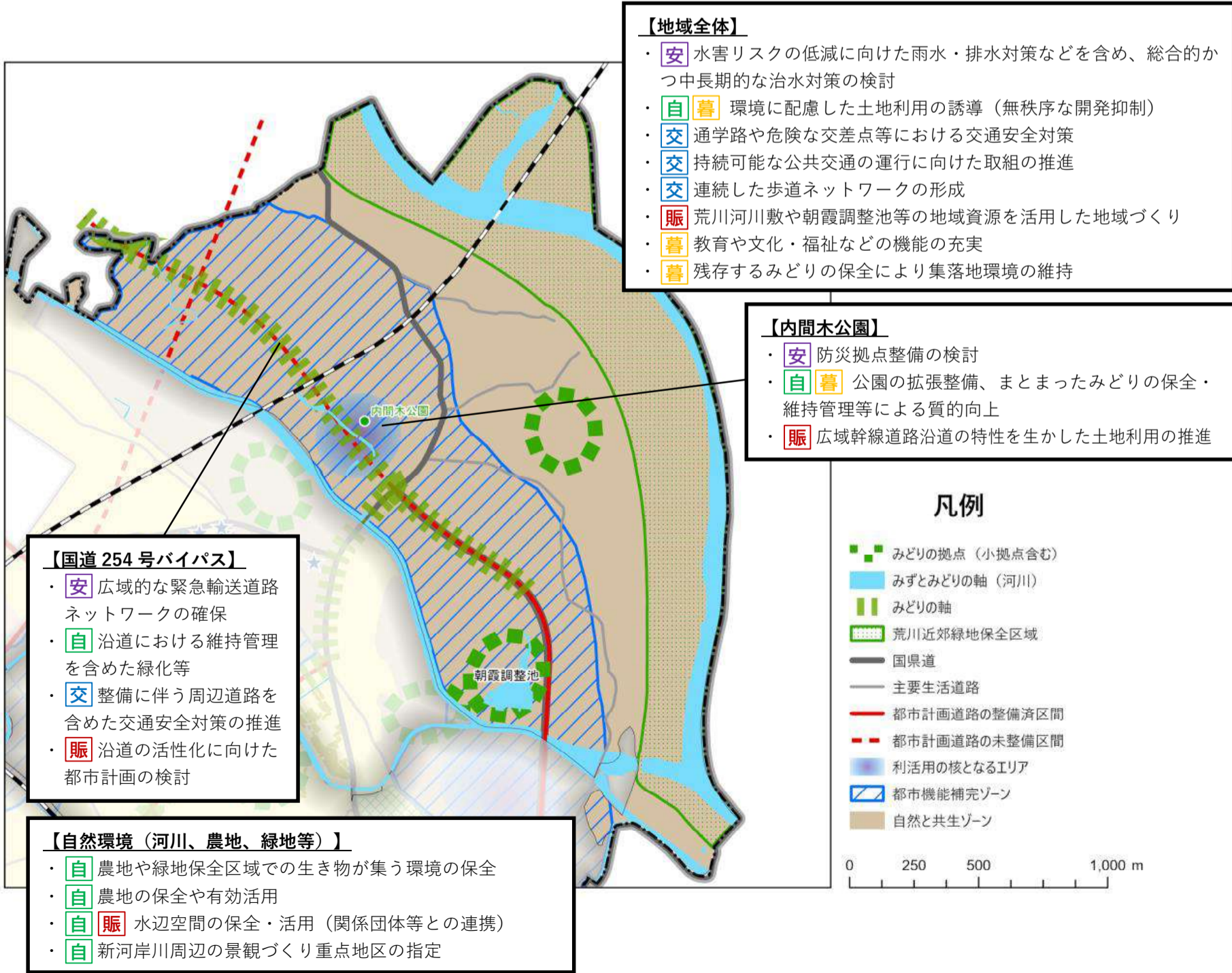
- ・飲食ができる場所
- ・買い物ができる場所
- ・子育て・福祉等公共サービスが相談・利用できる場所

**【まちづくりサロンより】**

○将来への思い（まちづくりの5か条）

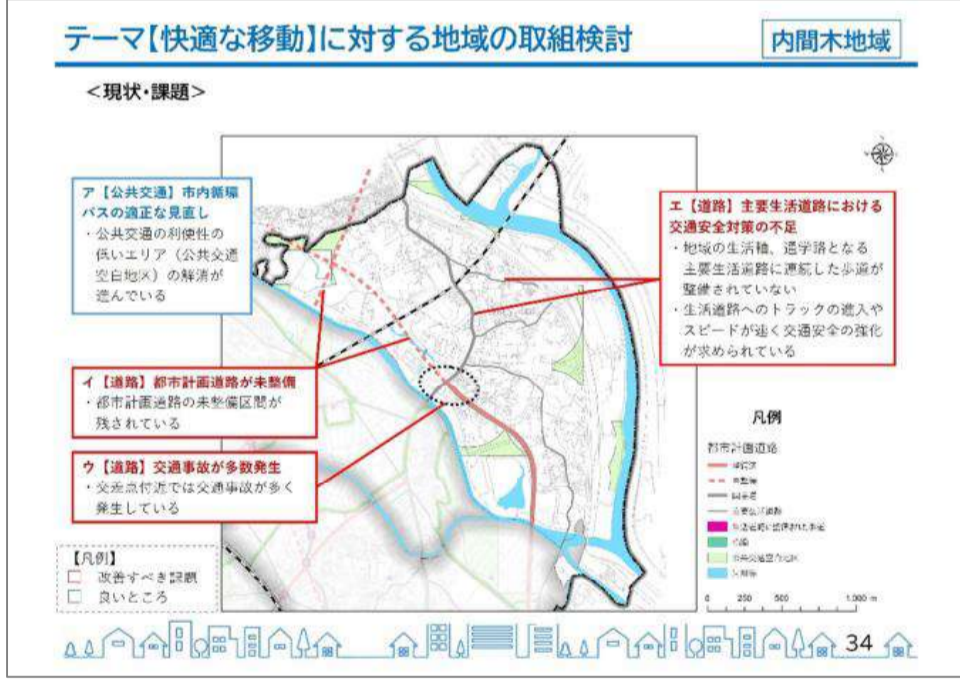
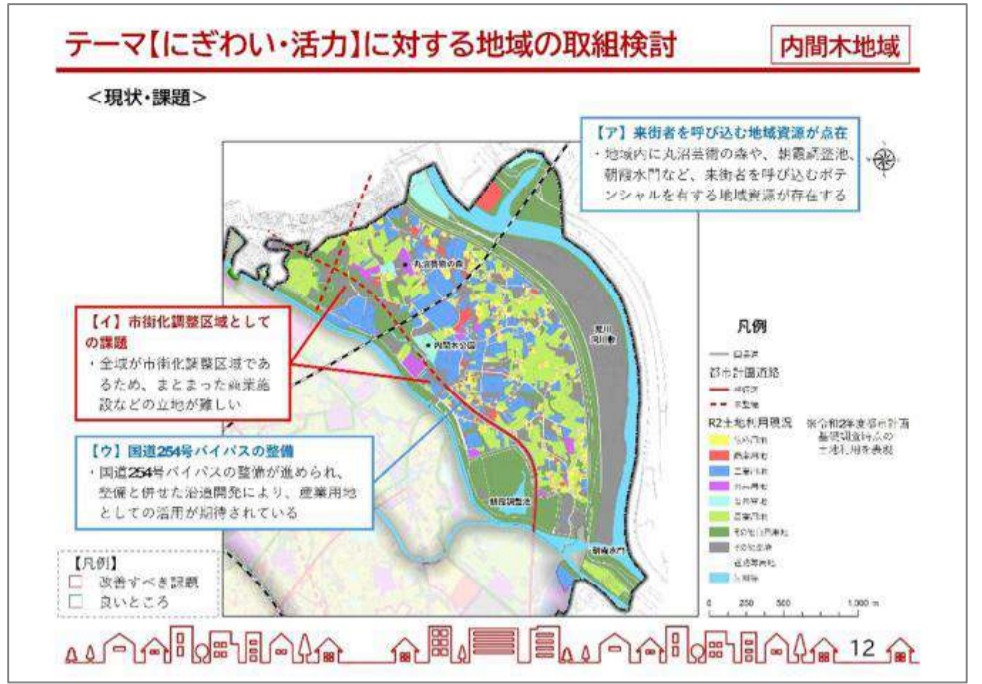
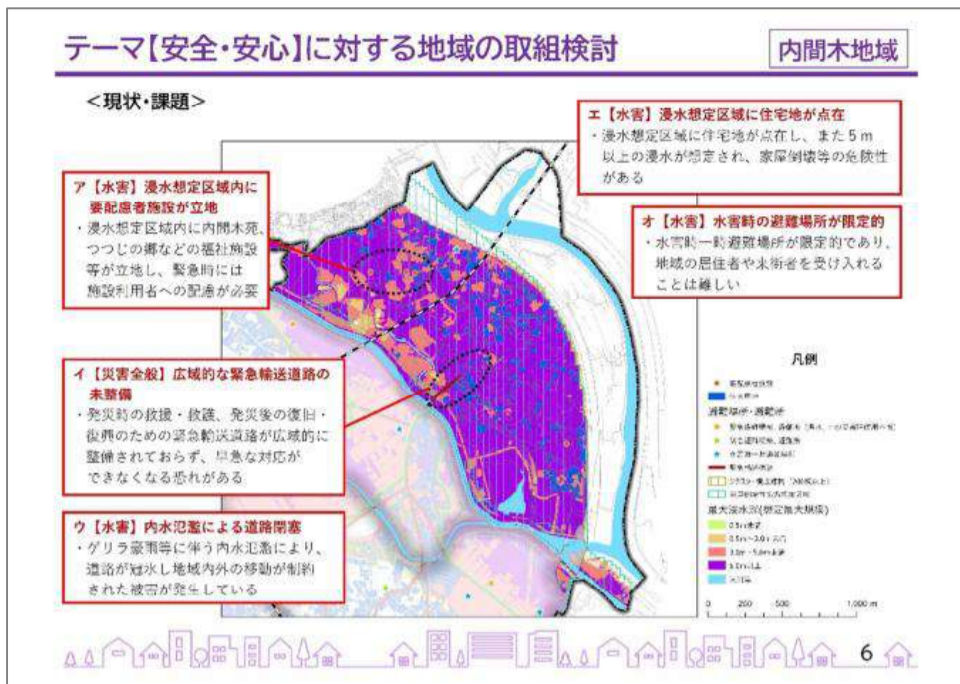
- ・冠水・浸水対策をし、住み続けたいくなるまち・戻ってきたくなるまち
- ・内間木公園の再整備、254号バイパス沿道の活用
- ・公共交通の利便性の向上
- ・環境の整備（緑・景観・農地）
- ・歩道の安全を確保する（子ども～高齢者が安心して通れるように）

内間木地域の方針図



(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 まちづくりサロン

### まちづくりの5か条(将来への想い)

<p><b>暮らし</b></p> <p>冠水・浸水対策をし、住み続けたいまち・戻ってきたくまち</p> <p>議論の要点 「地元を離れる人が多い」「後継者が不足している」という課題が挙げられ、「住み続けたいまち」「戻ってきたくまち」には、冠水・浸水対策が必要不可欠であるという議論がされました。</p>	<p><b>賑わい</b></p> <p>内間木公園の再整備 254号バイパス沿道の活用</p> <p>議論の要点 内間木公園の再整備に対する期待の声が挙げられました。254号バイパス沿道の活用については、内間木地域以外の人にも利用しやすくなる施設を整備することが賑わいの創出につながるという意見が出されました。</p>
<p><b>快適な移動</b></p> <p>公共交通の利便性の向上</p> <p>議論の要点 自宅からバス停まで遠いこと、バスに人が乗り切れないことが問題として共有されました。その改善策として、バスを毎日利用する人の数の把握やデマンドの活用など、計画的な対応を求める意見が挙げられました。</p>	<p><b>自然・環境</b></p> <p>環境の整備(緑・景観・農地)</p> <p>議論の要点 朝霞大橋や朝霞水門の景観や自然を将来に残すためには、「環境の整備」が必要だという意見が挙げられました。また、ライトアップなどを行うことによって地域外の人にも内間木地域の魅力的な景観に関心をもってほしいという意見も挙げられました。</p>
<p><b>安全・安心</b></p> <p>歩道の安全を確保する(子ども~高齢者が安心して通れるように)</p> <p>議論の要点 道幅の狭さや歩道の整備不足を理由に、子どもや高齢者の通行の安全性について懸念する意見が出されました。</p>	<p><b>【模造紙の記入例】</b></p>

■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 公共施設(図書館、体育館、博物館等)  
北朝霞・朝霞台駅周辺(店舗や飲食店等含む)  
荒川・新河岸川

○住まいの近くの地域にあつたらいいと思う場所

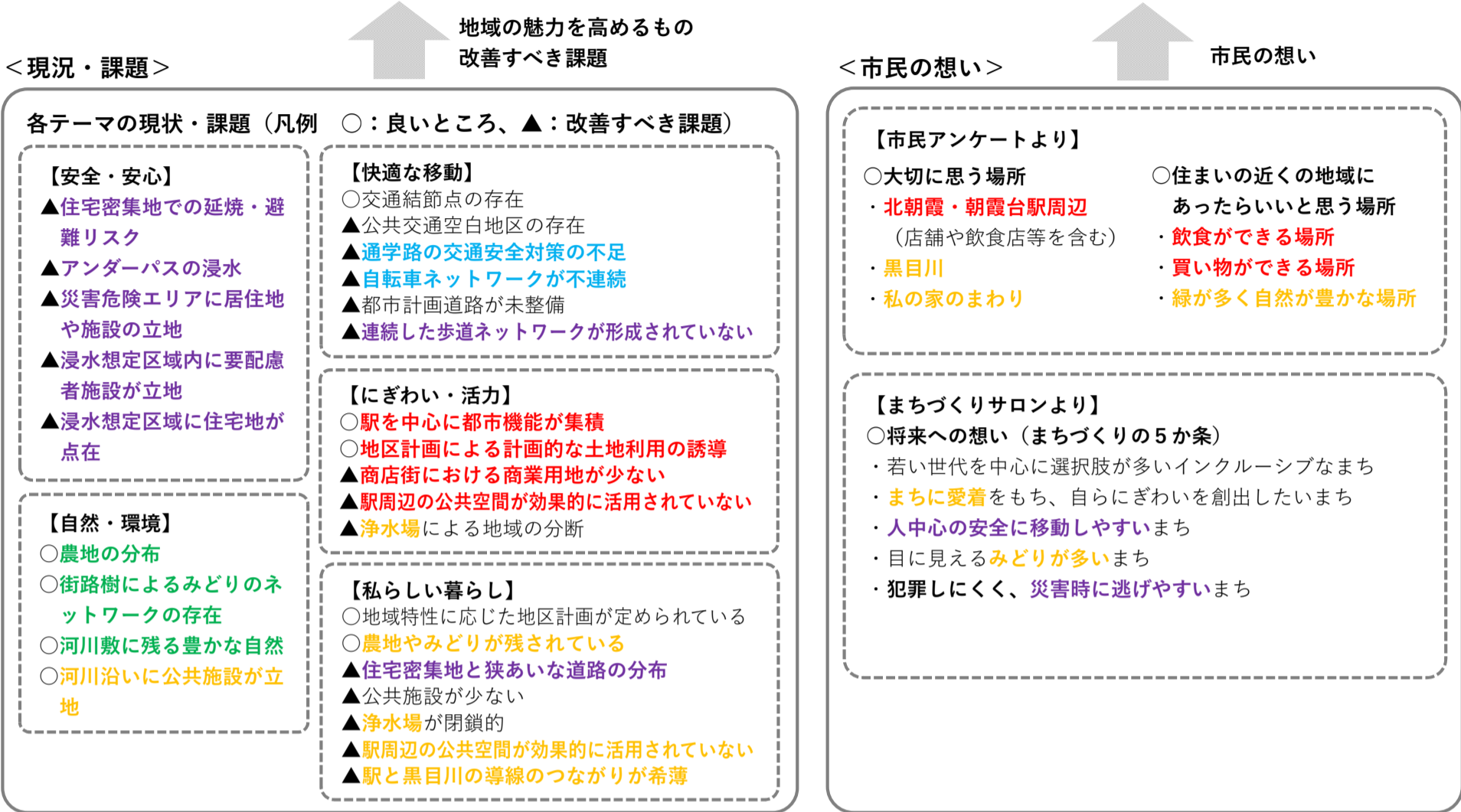
- 1位 飲食ができる場所  
買い物ができる場所(スーパーやコンビニ等)  
子育て・福祉等公共サービスが相談・利用できる場所

2-2. 地域別の将来像と方針図の検討【北部地域】

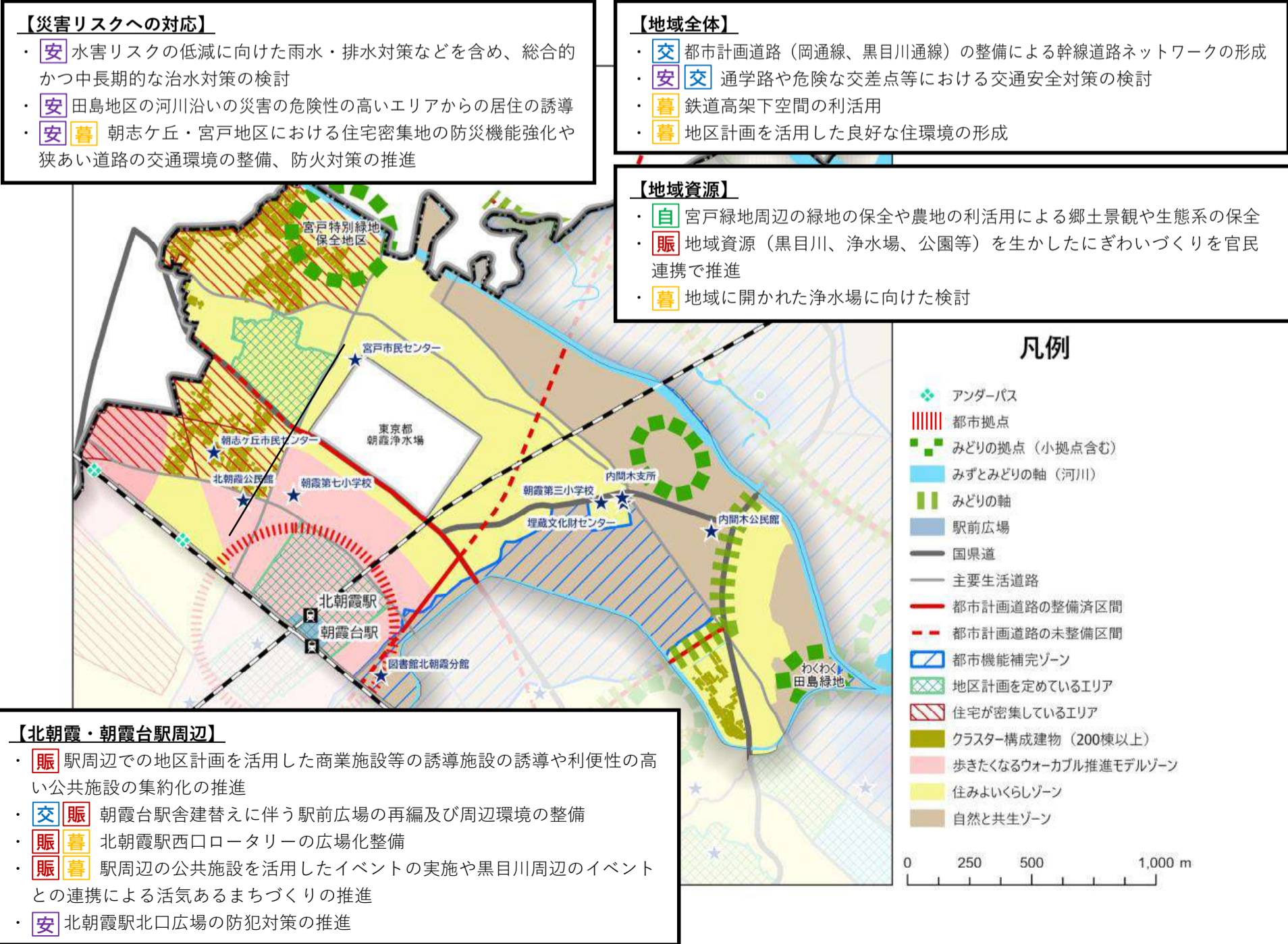
北部地域の将来像

- ① 地震・火災による延焼リスクや水害による浸水リスクを低減するための対策の充実を図ります。
- ② 駅周辺では地区計画による計画的な土地利用の誘導に加え、朝霞台駅舎の建替や北朝霞駅西口ロータリーの広場化等の契機を生かし、官民連携による賑わい形成を図ります。
- ③ 駅や市街地の近くに黒目川等による水辺空間や、農地やみどりによる豊かな自然が残されている特徴を生かし、移動を含めた自然と生活環境のつながりの強化により地域への愛着を高めます。

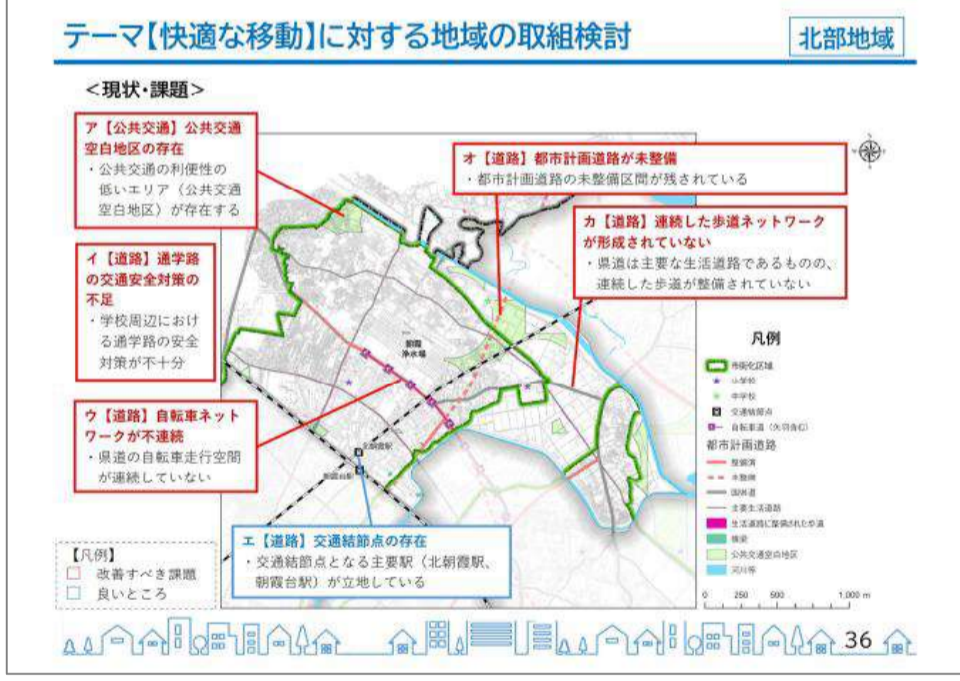
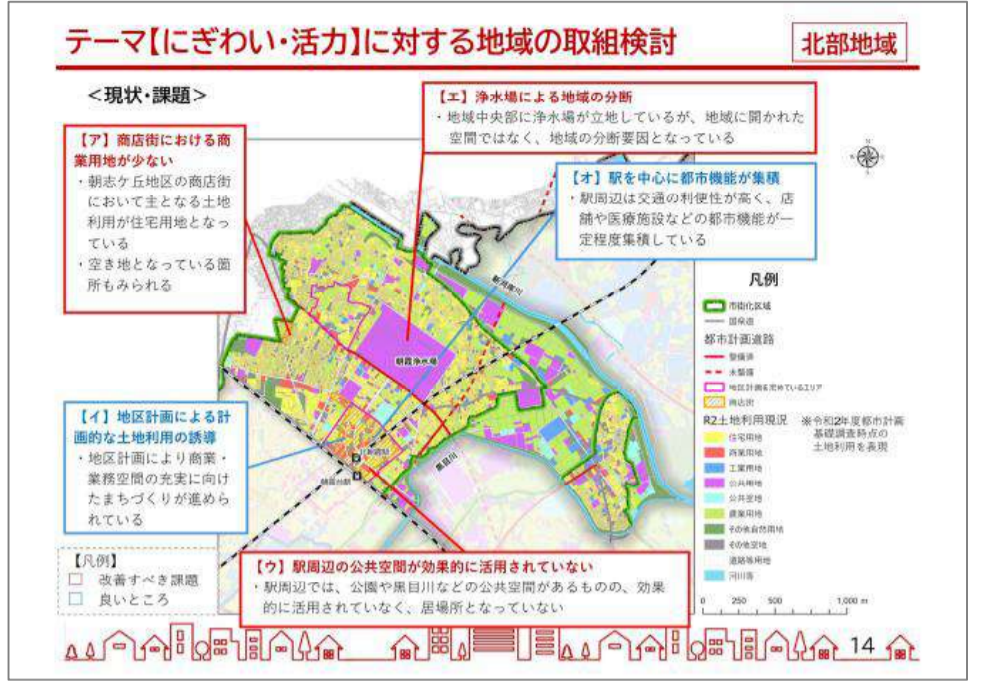
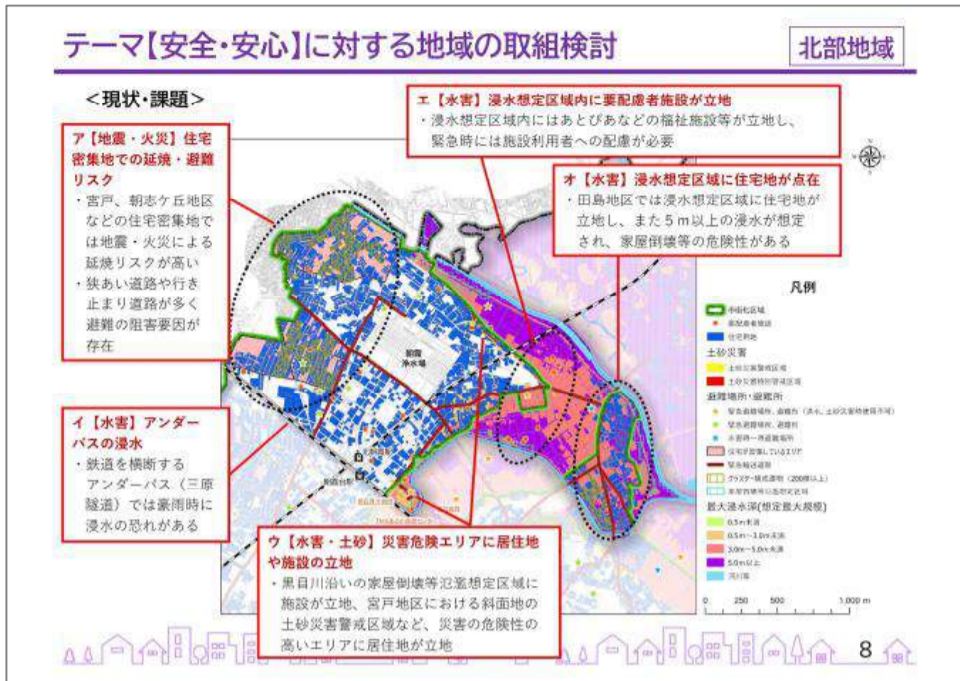
①住宅密集・浸水リスクを未然に防ぎ、  
②北朝霞・朝霞台駅周辺の賑わいから③自然まで生活環境で結ばれた、愛着が深まる北部地域



北部地域の方針図



■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 北朝霞・朝霞台駅周辺（店舗や飲食店等含む）
- 2位 黒目川
- 3位 私の家のまわり
- 4位 特になし
- 5位 公共施設（図書館、体育館、博物館等）

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 飲食ができる場所
- 2位 買い物ができる場所（スーパーやコンビニ等）
- 3位 買い物ができる場所（デパートや大規模なショッピングモール）
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 子供が安心して遊べる場所

■【市民の想い】 まちづくりサロン

### まちづくりの5か条(将来への想い)

#### 暮らし

若い世代を中心に選択肢が多いインクルーシブなまち

議論の要点  
「浄水場と地域の共存（地域住民の利便性等に寄り添った浄水場のあり方）」に関する議論があったほか、買い物等の場面で「選択肢が多い」まちにしたいという意見が出されました。

#### 賑わい

まちに愛着をもち、自らにぎわいを創出したいまち

議論の要点  
朝霞市の名産である「ニンジン」を活用した（苗の配布、緑被率にちなんで「ニンジン率」を設ける等）賑わいづくりをする案や、市民が賑わいづくりに楽しむことによる賑わいづくりの案が出されました。

#### 快適な移動

人が中心の安全に移動しやすいまち

議論の要点  
将来にわたり人口減少が見込まれることから、車両の通行が多少不便になったとしても、歩行者の通行の安全性やハンディキャップのある方々の安全性を高めるべきだという意見が多く出されました。

#### 自然・環境

目に見えるみどりが多いまち

議論の要点  
屋上緑化等により緑被率（上空からみたり）を高めるのではなく、ゴミ集積所の緑化等、緑被率（目に見えるみどり）を高めていくべきだという意見が出されました。

#### 安全・安心

犯罪にくく、災害時に逃げやすいまち

議論の要点  
防犯活動に対する補助の拡充の要望があったほか、災害による危険度を可視化したいという意見が出されました。

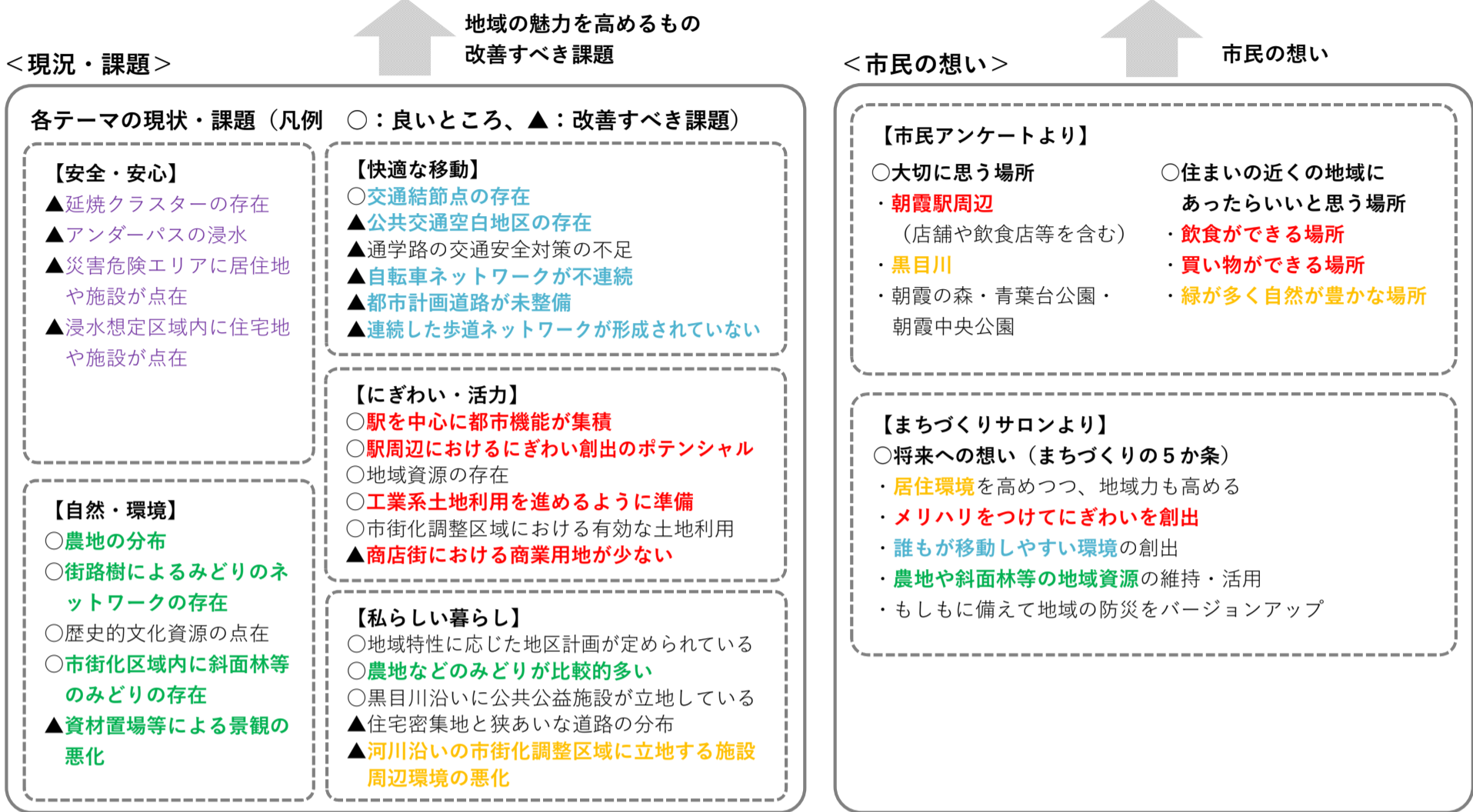
【模造紙の記入例】

2-3. 地域別の将来像と方針図の検討【東部地域】

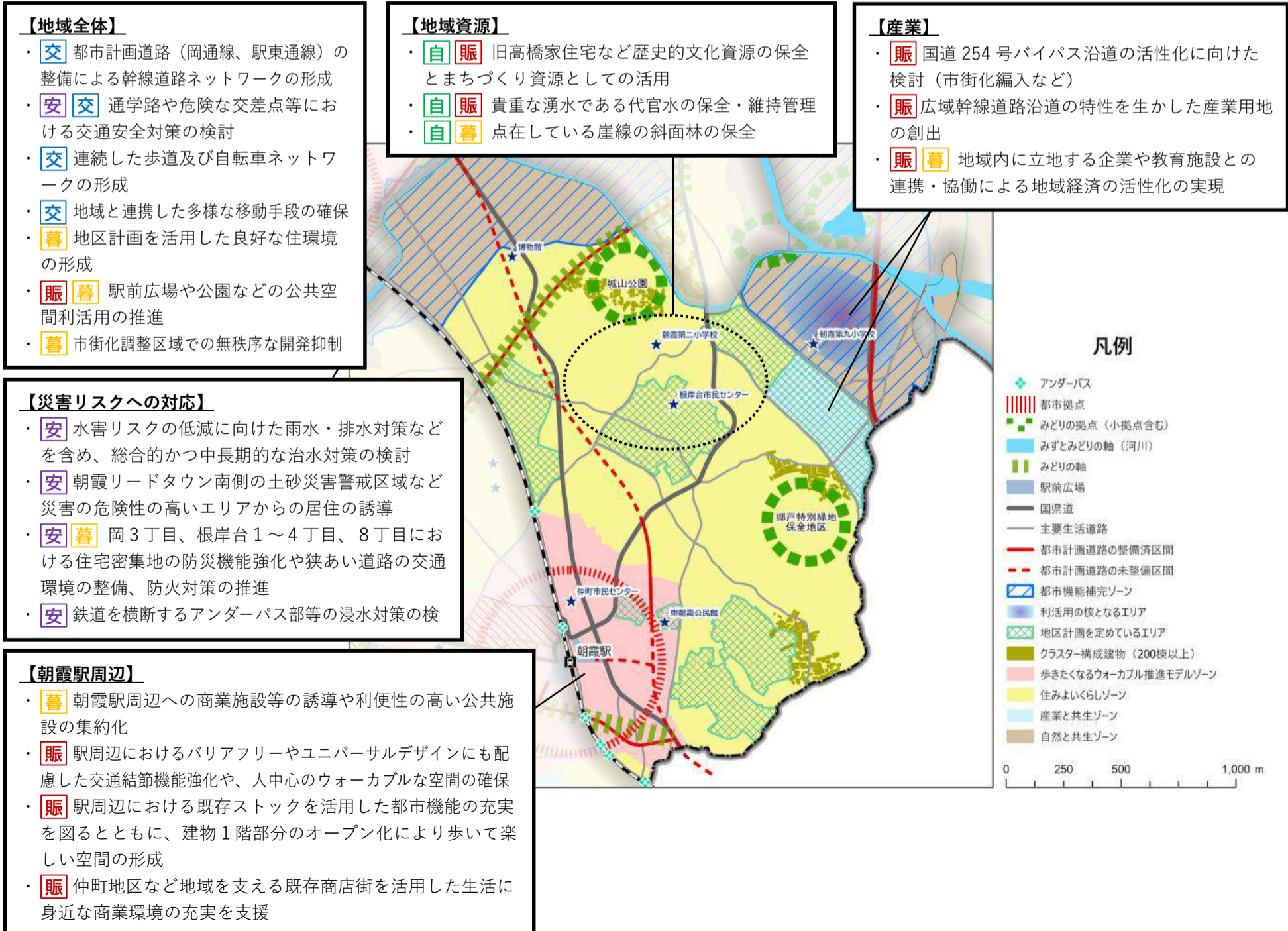
- ① 水害対策など、安全なまちへの取組を実施しながら農地や斜面林等のみどりが残る静かな居住環境を維持しつつ、その資源の有効活用により地域力の強化を図ります。
- ② 朝霞駅周辺や国道254号バイパス沿道ではそのポテンシャルを生かし、メリハリをつけてにぎわい形成を図ります。
- ③ 移動の目的に応じた多様な交通手段の確保により、誰もが移動しやすい環境を創出し、居住と産業が共存した特徴のある地域を目指します。

東部地域の将来像

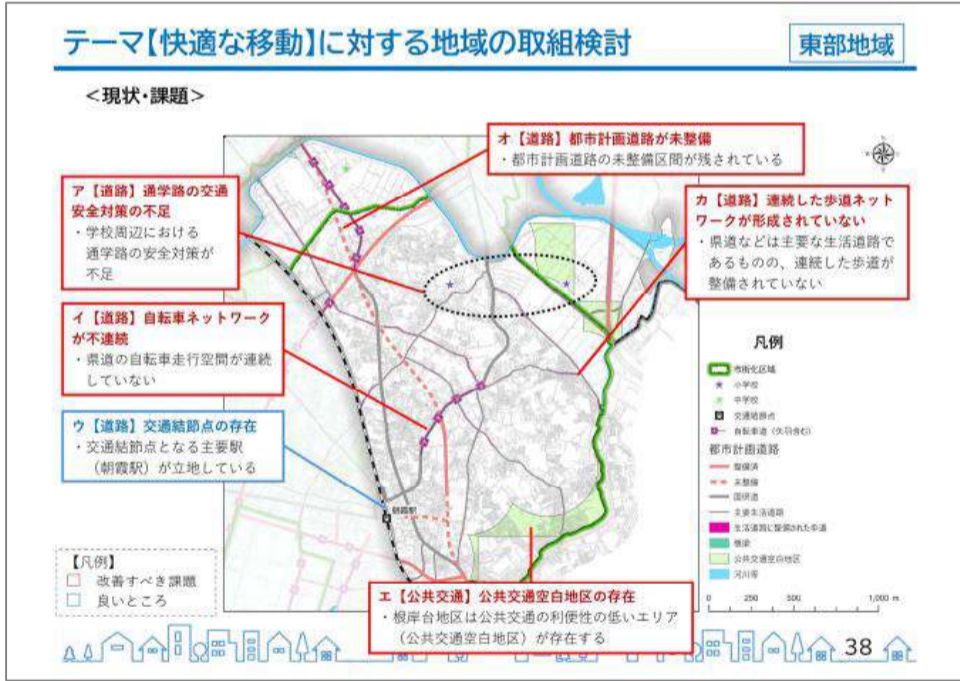
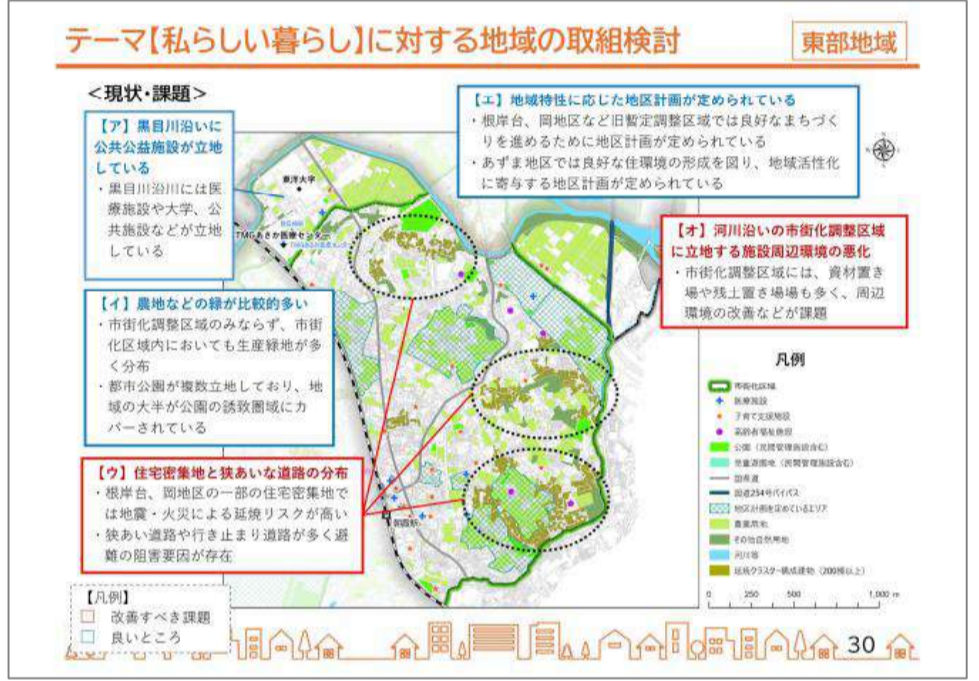
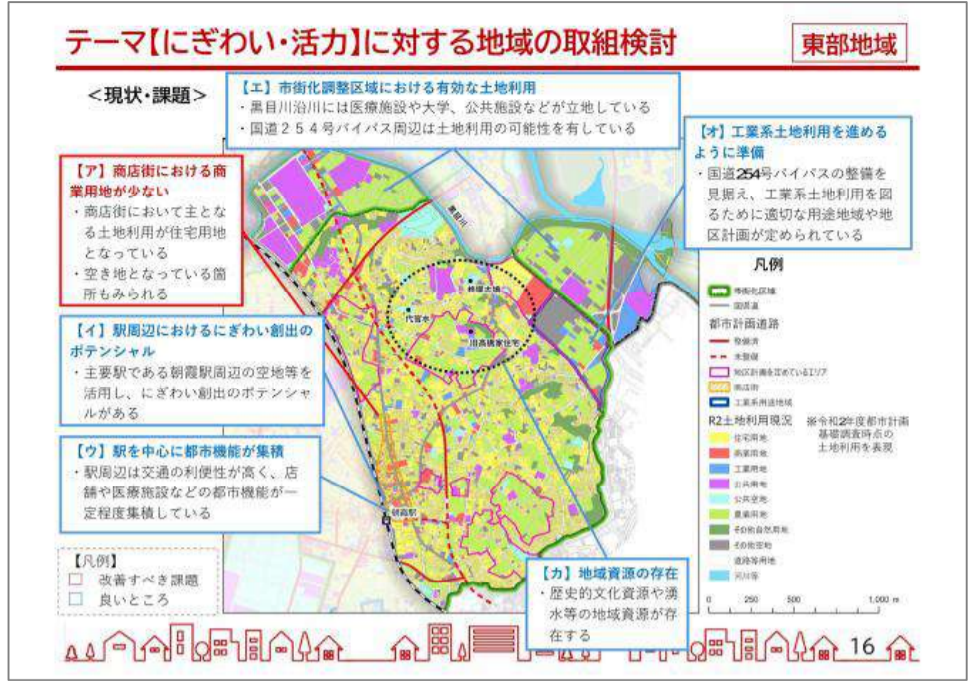
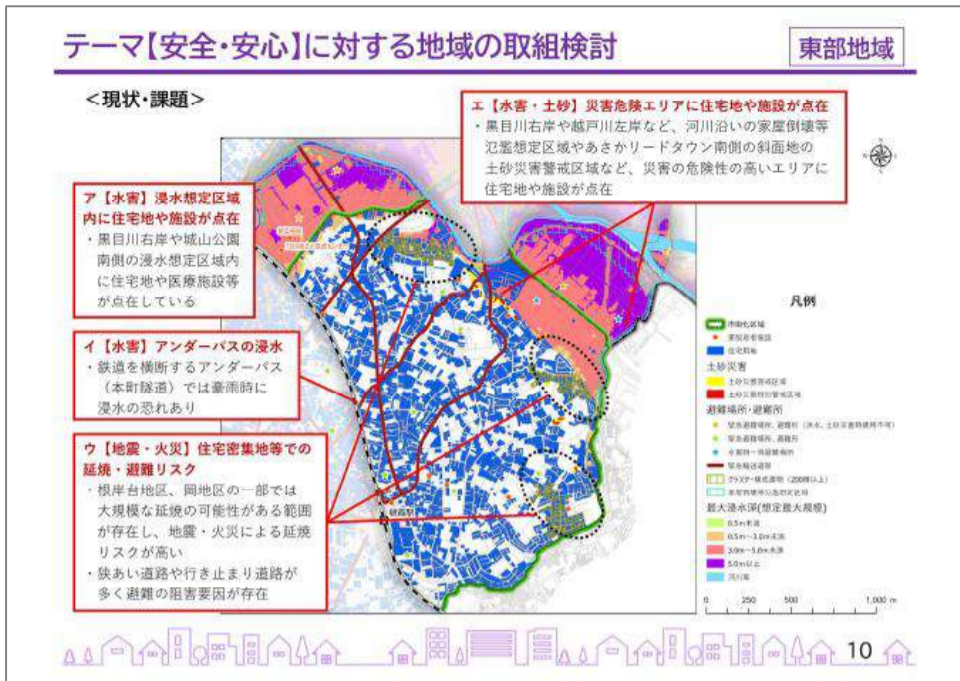
①農地や斜面林が残る安全な居住空間と、②朝霞駅周辺や254バイパス沿道における産業空間が共存し、  
③それぞれをつなぐ移動にやさしい東部地域



東部地域の方針図



■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 朝霞駅周辺(店舗や飲食店等含む)
- 2位 黒目川
- 3位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園
- 4位 公共施設(図書館、体育館、博物館等)
- 5位 私の家のまわり

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 買い物ができる場所(スーパーやコンビニ等)
- 2位 飲食ができる場所
- 3位 買い物ができる場所(デパートや大規模なショッピングモール)
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 子供が安心して遊べる場所

■【市民の想い】 まちづくりサロン

### まちづくりの5か条(将来への想い)

#### 暮らし

居住環境を高めつつ地域力も高める

議論の要点  
自然や田畑が残る静かな居住環境を維持しつつ、生活利便性をより高めていくことが必要であること。加えて、地域のつながりも高めていくことが必要との意見が出されました。

#### 賑わい

メリハリをつけてにぎわいを創出

議論の要点  
駅周辺やIC・バイパス周辺では商業や産業の活性化を計画的に進めつつ、既存の居住環境は維持していくような、メリハリのあるにぎわい創出を図っていくことが必要との意見が出されました。

#### 快適な移動

誰もが移動しやすい環境の創出

議論の要点  
道路が狭く、見通しが悪い道路が存在するなど、交通環境の確保が求められること。また、今後高齢化が進んでいく中でデマンドバスの導入など誰もが移動しやすい環境を整えていくことが必要との意見が出されました。

#### 自然・環境

農地や斜面林等の地域資源の維持・活用

議論の要点  
農地や斜面林などの地域資源を適切に残していくためには、資源の活用を図るとともに、管理等の仕組みを整えていくことが必要との意見が出されました。

#### 安全・安心

もしもに備えて地域の防災をバージョンアップ

議論の要点  
災害発生時だけでなく、その後の対応も含めた準備を整えておくことが必要との意見が出されました。

【模造紙の記入例】

2-4. 地域別の将来像と方針図の検討【西部地域】

- ① 地震・火災による延焼リスクや水害による浸水リスクの低減に向けた対策の充実を図ります。
- ② 黒目川の水辺空間や農地・緑地のみどりが残る良好な居住環境の維持・活用を図ります。
- ③ 駅周辺への都市機能の集積や企業・工場が立地している特性を活かし、民間企業と地域との連携強化により利便性の向上やにぎわいの創出を図ります。
- ④ 人と人、人とお店や企業、自然と地域などのつながりの強化や場の創出により、そのつながりから新たな発見やにぎわいが生まれる地域づくりを行います。

西部地域の将来像

①防災力を高め、②黒目川や農地などのみどりと③工場などの民間活力を活かした  
にぎわいと④つながりを感じる西部地域

↑ 地域の魅力を高めるもの  
改善すべき課題

<現況・課題>

各テーマの現状・課題（凡例 ○：良いところ、▲：改善すべき課題）

**【安全・安心】**

- ▲住宅密集地での延焼・避難リスク
- ▲アンダーパスの浸水
- ▲災害危険エリアに居住地や施設の点在
- ▲浸水想定区域内に住宅地や施設が点在

**【自然・環境】**

- 農地が点在している
- 工場敷地内にまとまった緑地の存在
- 川越街道の歴史的文化資源が存在する
- 河川敷に豊かな自然が残されている
- ▲公園や緑地が少ない
- ▲斜面林の減少

**【快適な移動】**

- 交通結節点の存在
- ▲公共交通空白地区の存在
- ▲通学路の交通安全対策の不足
- ▲交通事故が多数発生
- ▲都市計画道路が未整備
- ▲歩きやすい歩行空間が形成されていない

**【にぎわい・活力】**

- 駅を中心に都市機能が集積
- 地区計画による計画的な土地利用の誘導
- 企業が多く立地
- 農地や斜面林などの地域資源の存在
- ▲駅周辺の公共空間が効果的に活用されていない
- ▲商店街における商業用地が少ない
- ▲工業系用途地域における住工混在

**【私らしい暮らし】**

- 駅前に地区計画が定められている
- 農地やみどりが残されている
- ▲住宅密集地と狭い道路の分布
- ▲他地域に比べ、公共施設が少ない
- ▲駅と黒目川を結ぶ導線のつながりが希薄

↑ 市民の思い

<市民の思い>

**【市民アンケートより】**

○大切に思う場所

- ・黒目川
- ・北朝霞・朝霞台駅周辺  
(店舗や飲食店等を含む)
- ・特になし

○住まいの近くの地域に  
あったらいいと思う場所

- ・買い物ができる場所
- ・飲食ができる場所
- ・緑が多く自然が豊かな場所

**【まちづくりサロンより】**

○将来への思い（まちづくりの5か条）

- ・コミュニティスペース・複合的
- ・地元農産物の即売場、レストラン等のマルシェ
- ・バスだけではない移動手段の多様化
- ・桜並木の維持・植樹
- ・交通安全（歩道、道幅）と浸水リスクと密集市街地リスク

西部地域の方針図

**【地域全体】**

- ・ **交** 都市計画道路（黒目川通線等）の整備による幹線道路ネットワークの形成
- ・ **安交** 通学路や危険な交差点等における交通安全対策の検討
- ・ **交** 連続した歩道ネットワークの形成
- ・ **交** 老朽化した側溝の改修等による歩行者空間の改善
- ・ **賑** 弁財地区や三原地区に形成されている地域を支える既存商店街、三原通り沿道の商店など生活に身近な商業環境の充実を支援
- ・ **自** 残存するみどりや農地の保全による自然環境と調和した住環境の維持管理

**【北朝霞・朝霞台駅周辺】**

- ・ **賑暮** 駅周辺での地区計画を活用した商業施設等の誘導施設の誘導や利便性の高い公共施設の集約化の推進
- ・ **交** 朝霞台駅舎建替えに伴う駅前広場の再編及び周辺環境の整備
- ・ **賑暮** 駅周辺の公共施設を活用したイベントの実施や黒目川周辺のイベントとの連携による活気あるまちづくりの推進
- ・ **暮** 福祉等複合施設の整備
- ・ **賑暮** 駅・黒目川の回遊性向上

**【工業系地域】**

- ・ **自** 工業地内に残存する緑地等の保全や公園・児童遊園地等の適切な維持管理
- ・ **賑** 泉水、膝折地区に立地する企業との連携・協働による双方に配慮した空間形成や地域経済の活性化の実現

**凡例**

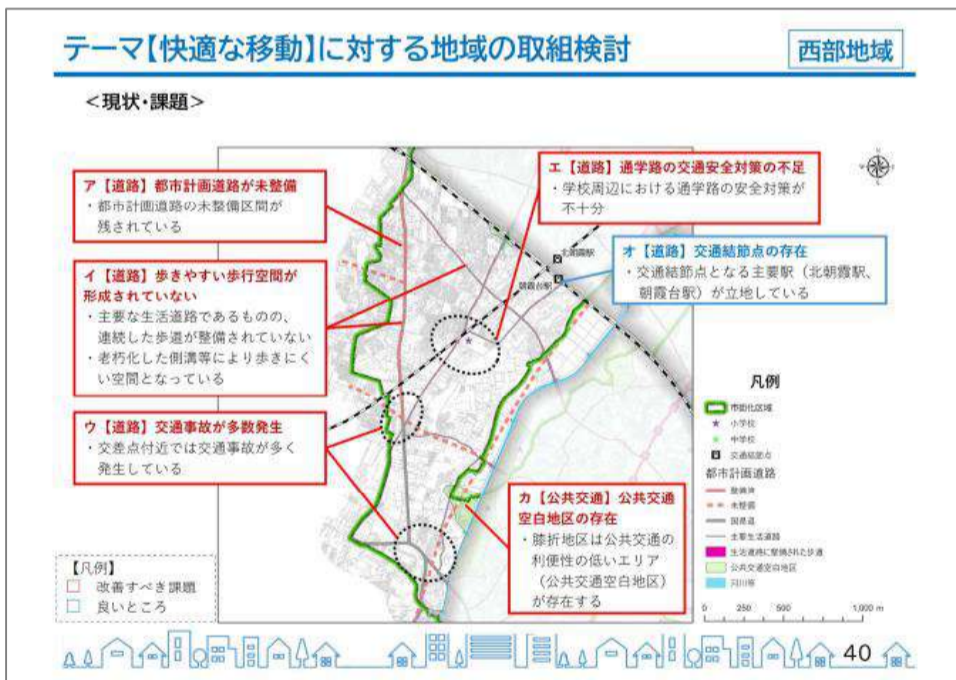
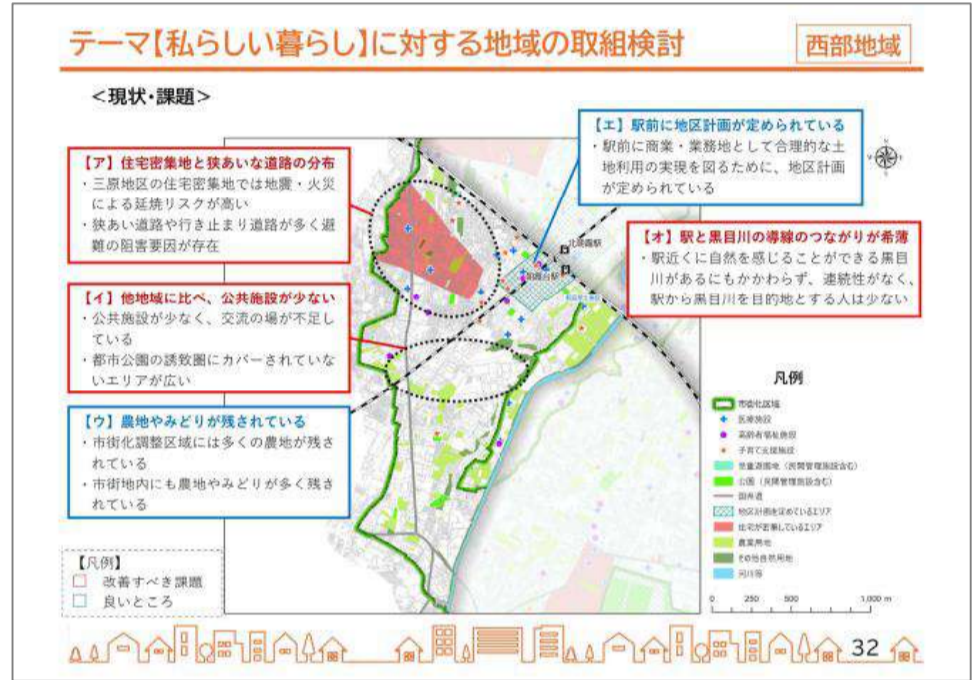
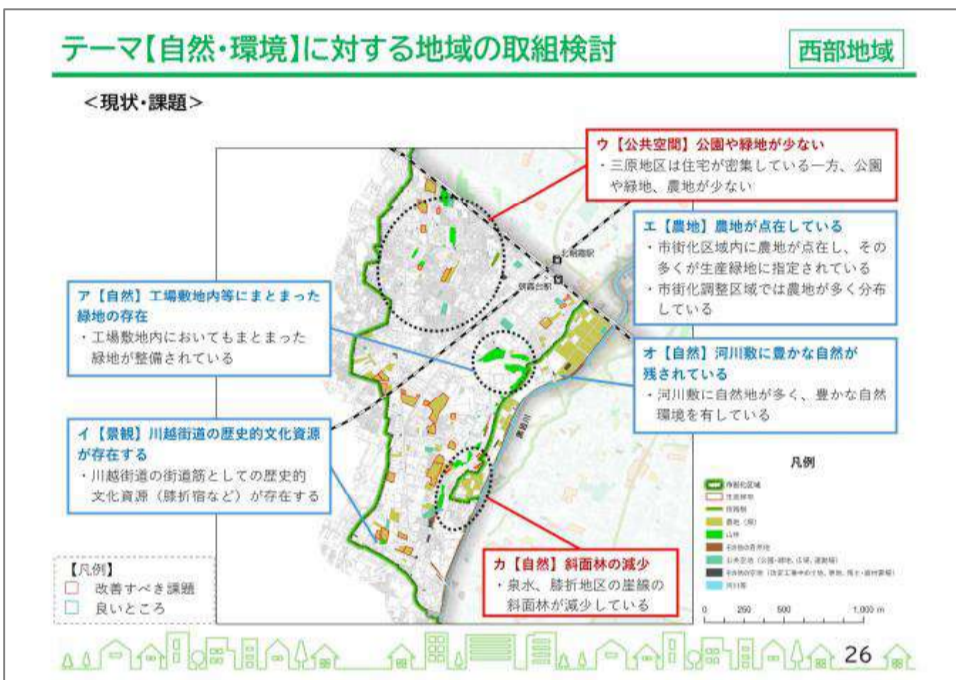
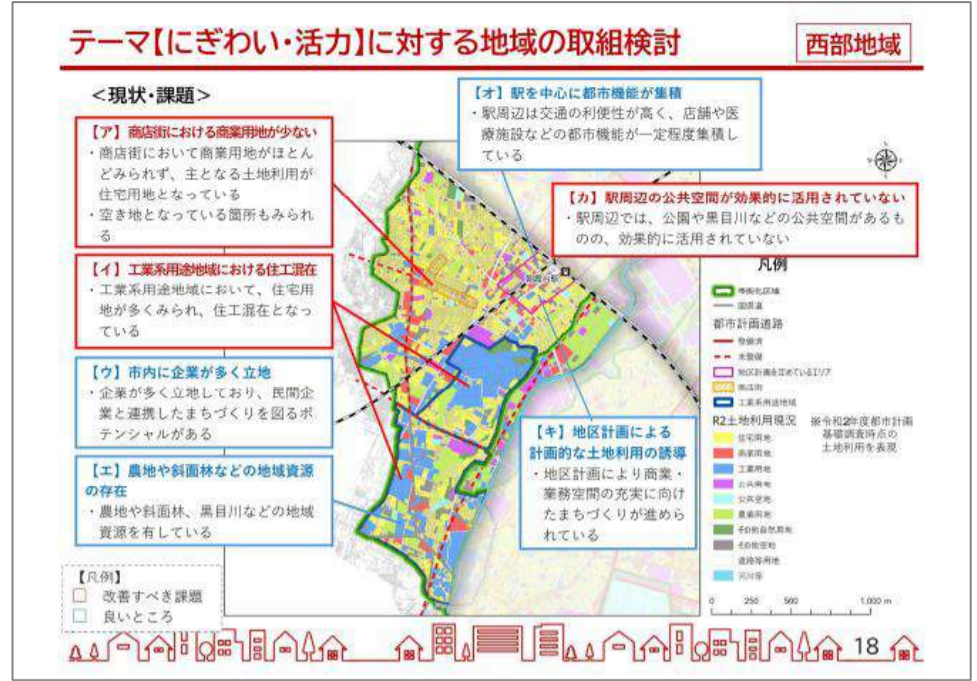
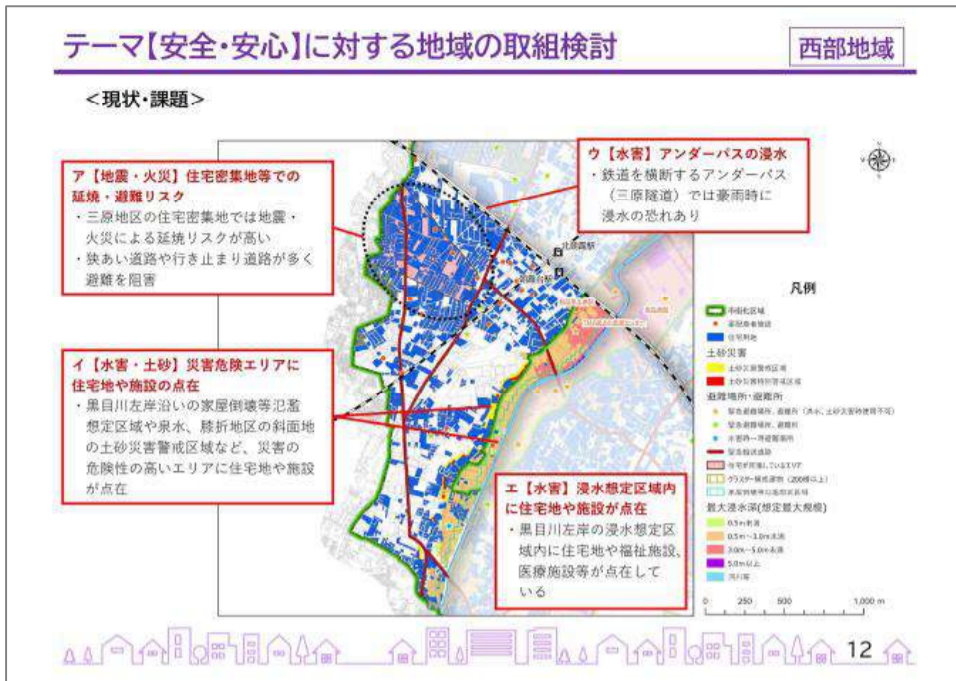
- ◆ アンダーパス
- ||||| 都市拠点
- みどりの拠点（小拠点含む）
- みずとみどりの軸（河川）
- 駅前広場
- 国県道
- 主要生活道路
- 都市計画道路の整備済区分
- 都市計画道路の未整備区分
- 都市機能補完ゾーン
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- クラスター構成建物（200棟以上）
- 歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーン
- 住みよいくらしゾーン
- 産業と共生ゾーン
- 自然と共生ゾーン

0 250 500 1,000 m



(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 黒目川
- 2位 北朝霞・朝霞台駅周辺(店舗や飲食店等含む)
- 3位 特にない
- 4位 私の家のまわり
- 5位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 買い物ができる場所(スーパーやコンビニ等)
- 2位 買い物ができる場所(デパートや大規模なショッピングモール)
- 3位 飲食ができる場所
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 買物ができる場所(個店が集まる商店街)

■【市民の想い】 まちづくりサロン

### まちづくりの5か条(将来への想い)

#### 暮らし

コミュニティスペース・複合的

議論の要点  
公民館、児童館などコミュニティの場が提供されるほか、子どもが遊べる自由広場も整備すること。また、図書館などの施設を整備する際に、富士見市のように、フリースペースも用意してほしいとの意見がありました。

#### 賑わい

地元農産物の即売場、レストラン等のマルシェ

議論の要点  
空き店舗の活用を推奨し、個人商店で会話しながら買い物ができる商店街をつくること。また、地元の農家が作った農産物を味わえる・買える機会の創出が必要との意見もありました。

#### 快適な移動

バスだけでなく移動手段の多様化(デマンドバス(タクシー)、移動販売も兼ねて)

議論の要点  
通勤・通学者と高齢者の公共交通に対する需要が異なるため、年代別の需要に対応するように公共交通を整備すること。加えて、定時運行しないバスなどの活用により、全体的な利便性を向上するとの意見もありました。

#### 自然・環境

桜並木の維持・植樹

議論の要点  
昔植えた桜の木が「高齢」になり、倒れる危険性があるため、桜並木の維持を図り、計画的に植替えを図ること。

#### 安全・安心

交通安全(歩道、道幅)と浸水リスクと密集市街地リスク

議論の要点  
道路が狭く、歩道がないなど、交通安全の確保が求められること。また、地域により浸水リスクがあるため、安全対策を図ることも求められました。

#### 【模造紙の記入例】

2-5. 地域別の将来像と方針図の検討【南部地域】

- ① 地震・火災による延焼リスクや水害による浸水リスクの低減に向けた対策の充実と、交通安全対策の強化により、誰もが安全・安心に生活できる住環境を整えます。
- ② 黒目川の水辺空間や基地跡地等のみどりが残る豊かな自然環境や、川越街道の歴史的文化的資源等の地域資源の適切な維持管理・活用を図ります。
- ③ 朝霞駅や基地跡地周辺に充実した都市機能や公共空間を活かし、官民連携により一体的な賑わいや活力の創出に向けた取組を推進します。

南部地域の将来像

①安全・安心な住環境をととのえ、②みどりや歴史を生かし  
③朝霞駅周辺や基地跡地を中心とした、みんなでにぎわいをつくる南部地域

<現況・課題>

↑ 地域の魅力を高めるもの  
改善すべき課題

各テーマの現状・課題（凡例 ○：良いところ、▲：改善すべき課題）

**【安全・安心】**

- ▲住宅密集地での延焼・避難リスク
- ▲アンダーパスの浸水
- ▲災害危険エリアに居住地や施設が点在
- ▲浸水想定区域内に住宅地や施設が点在

**【快適な移動】**

- 交通結節点の存在
- 自転車ネットワークの形成
- ▲公共交通空白地区の存在
- ▲通学路の交通安全対策の不足
- ▲連続した歩道ネットワークが形成されていない
- ▲勾配による高齢者の移動制約

<市民の思い>

↑ 市民の思い

**【市民アンケートより】**

○大切に思う場所

- ・朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園
- ・黒目川
- ・朝霞駅周辺

(店舗や飲食店等を含む)

○住まいの近くの地域に  
あったらいいと思う場所

- ・買い物ができる場所
- ・飲食ができる場所
- ・緑が多く自然が豊かな場所

**【まちづくりサロンより】**

○将来への思い（まちづくりの5か条）

- ・子どもから高齢者、障がい者も安心して暮らせる地域づくり
- ・歴史や地形を公民で活かして朝霞を楽しむ
- ・高齢化に対応した持続可能な移動手段の確保
- ・市民の手で緑や環境をもっと良くしていく
- ・狭いみちでも安全で、いざというときにも安心

南部地域の方針図

**【地域全体】**

- ・**安交** 通学路や危険な交差点等における交通安全対策の検討
- ・**交** 連続した歩道及び自転車ネットワークの形成
- ・**交** 地域と連携した移動手段の確保
- ・**交** ひざおり通りなどの坂道周辺におけるまちなかベンチの設置の検討
- ・**賑** 膝折町や栄町などに立地する企業との連携・協働による双方に配慮した空間形成や地域経済の活性化の実現
- ・**賑** 膝折町、幸町、本町、栄町など地域を支える既存商店街を活用した生活に身近な商業環境の充実を支援

**【地域資源】**

- ・**自** 黒目川沿いの桜並木の適切な維持管理
- ・**自賑** 川越街道筋の歴史的要素（膝折宿）の保全やまちづくり資源としての活用
- ・**自賑** 貴重な湧水である広沢の池の保全・維持管理

**【基地跡地】**

- ・**暮** 基地跡地利用計画、基地跡地地区地区計画に基づく施設整備及び土地利用の推進
- ・**安** 基地跡地における防災拠点化の検討
- ・**賑** 朝霞駅周辺と一体的な賑わいや活力の創出に向けた官民連携の取組の推進

**【朝霞駅周辺】**

- ・**賑** 市役所をはじめ、主要な公共施設の立地を活かし、朝霞駅前の活性化と連動した回遊性の高い歩道・広場の設置・充実などにより中心拠点としての魅力向上
- ・**暮** オープンスペースの創出に向けた取組と、空間を活用したイベントの実施
- ・**暮** シンボルロードの歩行者利便増進道路指定による道路空間の利活用
- ・**暮** 駅周辺への商業施設等の誘導施設の誘導や利便性の高い公共施設の集約化
- ・**安交** 朝霞駅南口周辺地区個交通安全対策基本構想に基づく交通安全対策

**【災害リスクへの対応】**

- ・**安** 水害リスクの低減に向けた雨水・排水対策などを含め、総合的かつ中長期的な治水対策の検討
- ・**安** 黒目川右岸沿いの災害の危険性の高いエリアからの居住の誘導
- ・**安暮** 幸町・本町・栄町周辺における住宅密集地の防災機能強化や狭い道路の交通環境の整備、防火対策の推進
- ・**安** 鉄道を横断するアンダーパス部等の浸水対策の検討
- ・**安** 駅前通りやシンボルロード等の無電柱化の推進

**凡例**

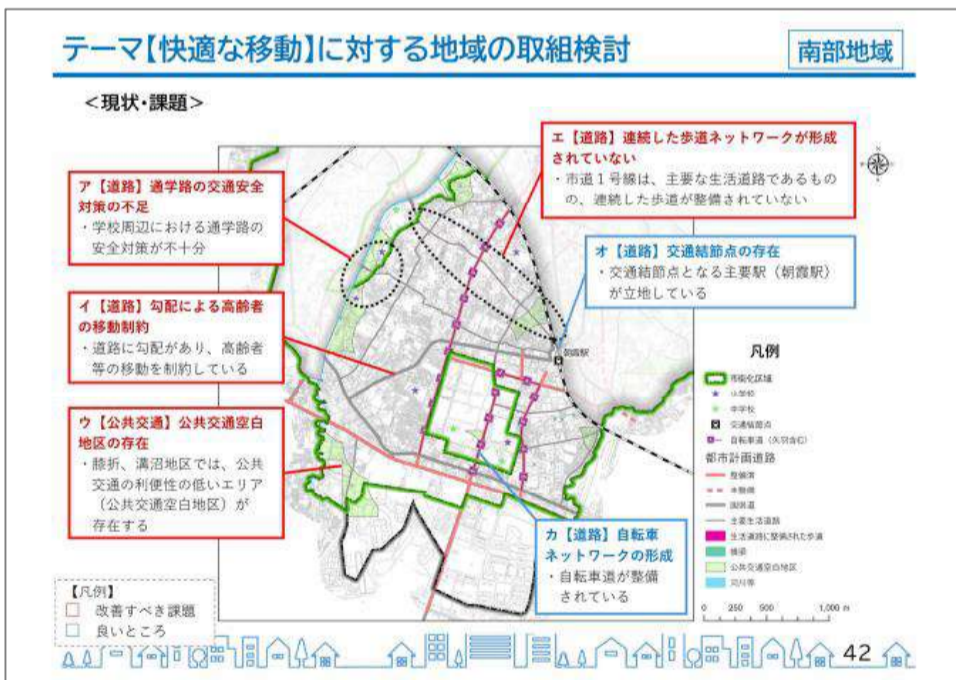
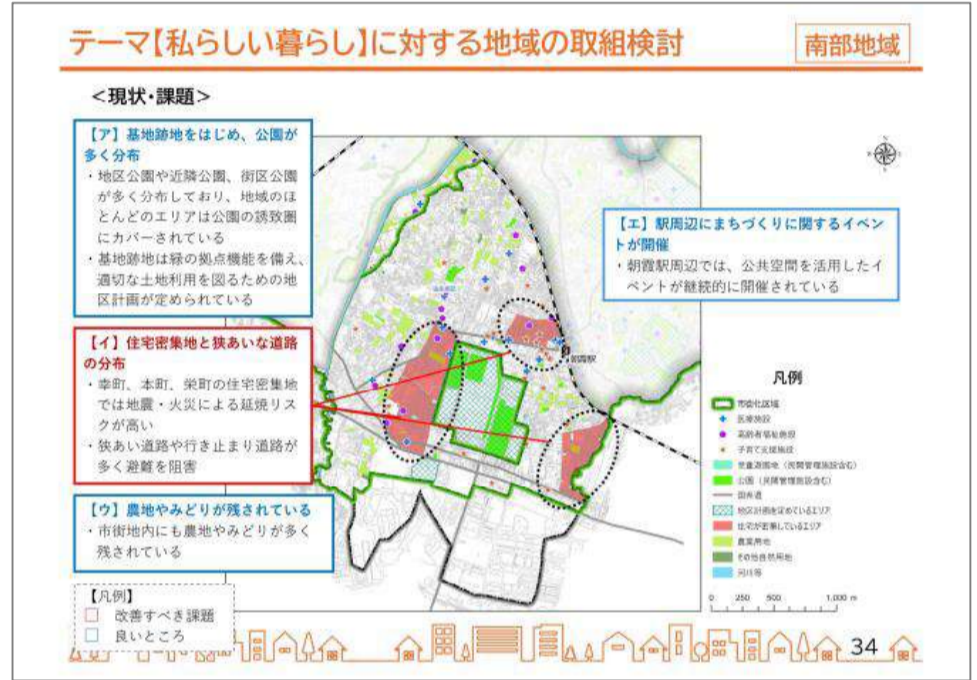
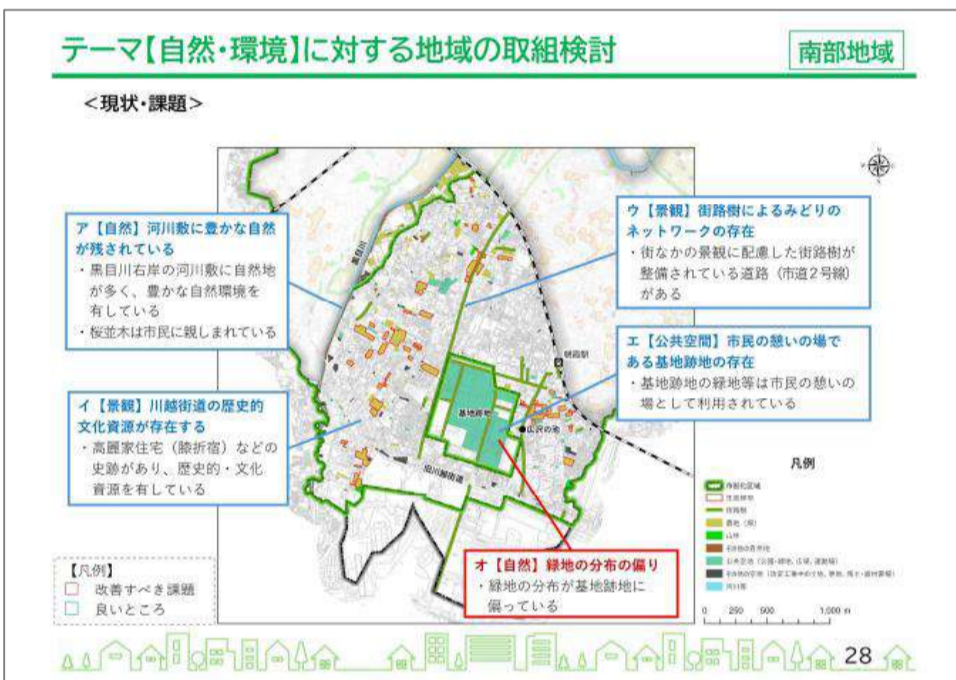
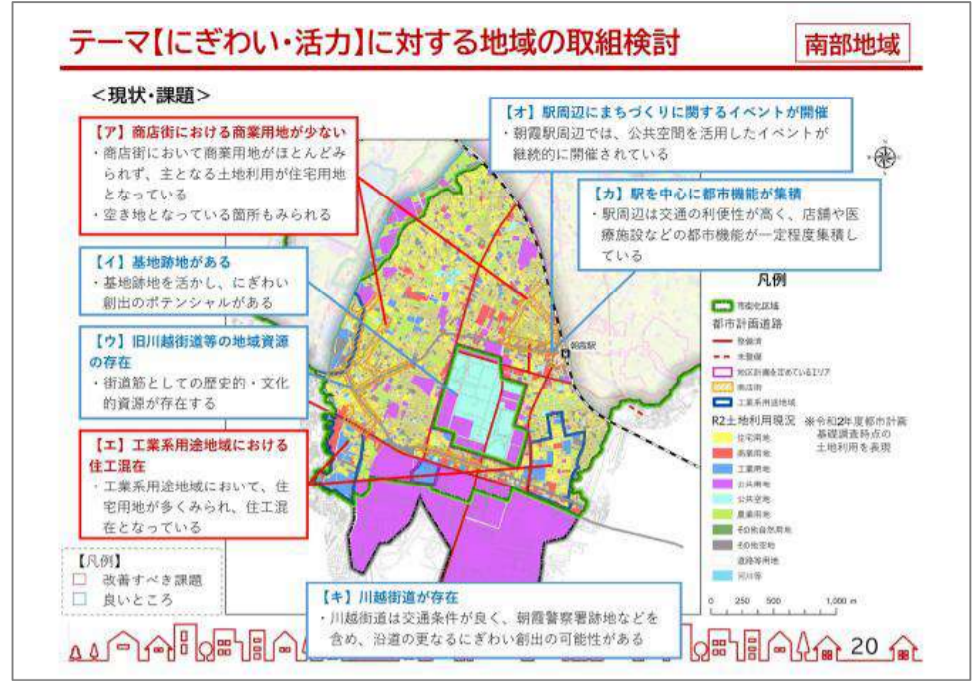
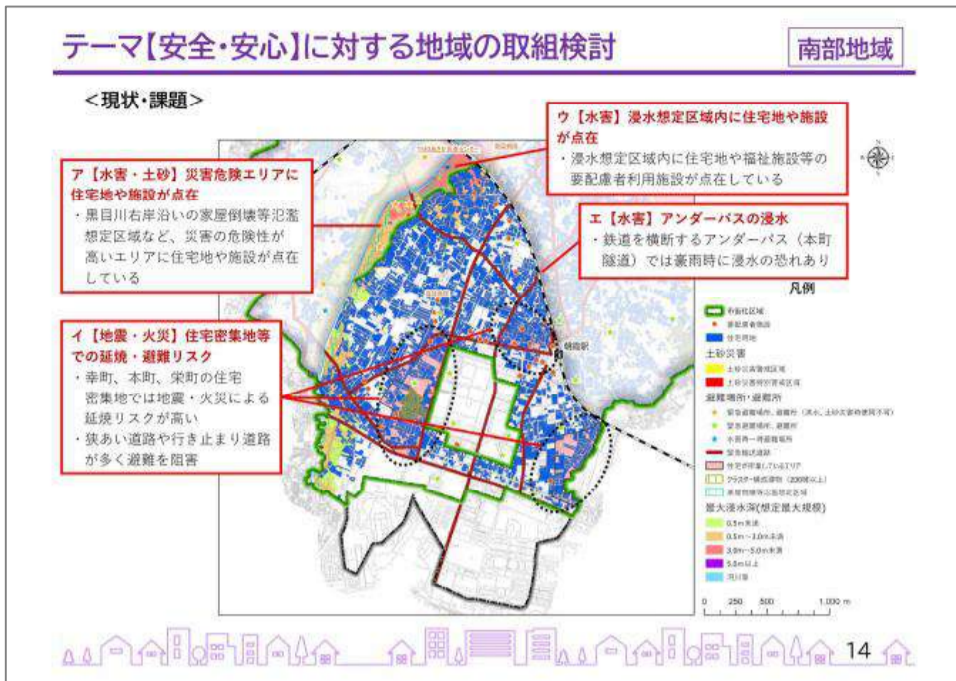
- ◆ アンダーパス
- ||||| 都市拠点
- みどりの拠点（小拠点含む）
- みずとみどりの軸（河川）
- みどりの軸
- 駅前広場
- 国県道
- 主要生活道路
- 都市計画道路の整備済区間
- 都市計画道路の未整備区間
- 都市機能補完ゾーン
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- クラスタ構成建物（200棟以上）
- 歩きたくなるウォークアブル推進モデルゾーン
- 住みよいくらしゾーン
- 産業と共生ゾーン
- 自然と共生ゾーン

0 250 500 1,000 m

10

(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園
- 2位 黒目川
- 3位 朝霞駅周辺（店舗や飲食店等含む）
- 4位 私の家のまわり
- 5位 シンボルロード

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 買い物ができる場所（スーパーやコンビニ等）
- 2位 飲食ができる場所
- 3位 買い物ができる場所（デパートや大規模なショッピングモール）
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 買物ができる場所（個店が集まる商店街）

■【市民の想い】まちづくりサロン

まちづくりの5か条(将来への想い)

暮らし

子どもから高齢者、障がい者も安心して暮らせる環境づくり

議論の要点  
比較的小子どもが多くファミリー世帯が暮らしやすい反面、坂が多くて高齢者が暮らせるのは元気がうちだけ、といった議論から、どの世代・属性の方々にとっても暮らしやすいまちを目指すこととしました。

賑わい

歴史や地形を公民で活かして朝霞を楽しむ

議論の要点  
商店街などの賑わいを高めるだけではなく、膝折宿や坂の多い地形といった、ここしかない歴史や地理を楽しんでもらいたい、一方で歴史を残していくために公・民が連携する必要がある、といった意見がありました。

快適な移動

高齢化に対応した持続可能な移動手段の確保

議論の要点  
高齢者にとって移動手段は必須だが将来的にも持続可能な公共交通にしなければならないといった課題から、住民もバスにあえて乗らなければ残せない、自動運転などの技術を活用する、などの意見がありました。

自然・環境

市民の手で緑や環境をもっと良くしていく

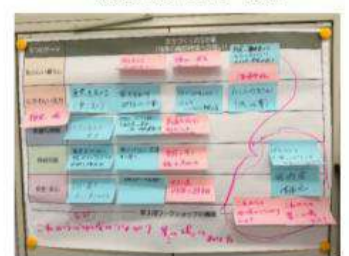
議論の要点  
緑を増やしたり残したりすることを行政任せにするのではなく、市民ボランティアの力を合わせる、緑だけでなく花を飾って楽しむ、といった参加型で緑の保全・創出を目指す意見がありました。

安全・安心

狭いみちでも安全で、いざというときも安心

議論の要点  
道が狭い、歩道がないといった課題が多く聞かれ、狭い道でも安全・安心でありたいという意見がありました。

【模造紙の記入例】



## 地域別構想等の検討を踏まえた全体構想への反映

### 【凡例】

**赤字**：地域別構想の検討など、これまでの検討事項を踏まえ見直しや追加した事項

### (1) 朝霞市の目指すまちづくりの将来像

まちづくりの将来像は、朝霞市都市計画マスタープランの策定から概ね20年後に向けて、本市が目指す将来イメージを示すものである。ここでは、まちづくりにあたっての基本的な考え方と、まちづくりを進める上での統一的な目標概念となる「将来像」を設定する。

本計画の策定では、同時期に第6次朝霞市総合計画が策定されることから、相互の連携をより深めることが重要と考え、同じ将来像（ビジョン）を掲げる。

#### <将来像>

**だれもが誇れる 暮らしつづけたいまち 朝霞**

朝霞市は、武蔵野台地に育まれた緑と水辺に恵まれ、交通利便性の高い東京近郊の住宅都市として発展し、市制施行時に約5万5千人だった人口は、これまで増加を続け、令和7年（2025年）には約14万6千人を有する都市に成長してきた。

これからも、朝霞市の強みである生活利便性や安全性、恵まれた自然環境、朝霞市民まつり「彩夏祭」に代表される文化などを、未来に継承していく。

さらには、近年希薄化しつつある人と人とのつながりの再生や、協働によるまちづくりの活性化を通じ、第5次総合計画の将来像として掲げた『暮らしつづけたいまち』をさらに洗練することで、誰にとっても魅力的で誇りを持てる、住みやすいまちを目指す。

## (2) 将来像の実現に向けたまちづくりのテーマ

前述で整理した上位計画における位置づけや、将来のまちづくりに対する市民意向、本市を取り巻く社会動向等の整理から、今後のまちづくりを検討する上でのキーワードを抽出し、そのキーワードを「来訪者／通勤・通学、住んでいる人、全体」のターゲットに応じて配置すると、大きく5つのグループに括ることができます。この5つのまとまりを将来像の実現に向けて取り組むべきまちづくりのテーマとして設定します。

上記の5つのテーマは、これからのまちづくりを考える上で対応しなければいけないものと、朝霞の価値を高めるものに分けられます。そのため、以下の5つのテーマの関係性では、対応しなければいけない2つのテーマ「持続可能**自然・環境**」と「安全・安心」を土台として、朝霞市の価値を高める3つのテーマ「私らしい暮らし」、「にぎわい・活力」、「快適な移動」を育てていくことを表現しています。

### ■ 5つのテーマの関係性（更新）



### ■ まちづくりのテーマの方針

5つのまちづくりのテーマに含まれるキーワードから、各テーマのまちづくりの方針を以下のとおり設定します。

テーマ	まちづくりの方針
私らしい暮らし	・自然と利便性が共存するコンパクトな住宅都市であることを生かし、一大ひとりが <b>私らしく</b> いきいきと暮らせるまちを目指します。
にぎわい・活力	・四季折々のイベントが充実し笑顔が絶えないワクワクするまち、鉄道駅や道路ネットワークを生かした活力のあるまちを目指します。
快適な移動	・多様な交通手段でつながる、安全で快適な移動環境のある <b>ウォーカブルな人にやさしい</b> まちを目指します。
持続可能 自然・環境	・みずとみどりのある朝霞らしい風景を守り、親しみ、未来の子どもたちに胸を張って残せる持続可能なまちを目指します。
安全・安心	・災害が発生しても、被害を最小限に留めるとともに素早く確実に復旧でき、日常生活のなかで防犯とともに備えができていくまちを目指します。

<朝霞の価値を高めるキーワード>



<都市基盤の土台となるキーワード>



5-1) テーマ「安全・安心」

<方針>

災害が発生しても、被害を最小限に留めるとともに素早く確実に復旧でき、日常生活のなかで防犯とともに備えができていいるまちを目指します。

<方針の実現に向けた取組（案）>

■ 災害に備える

① 災害のおそれがある地区からの脱却災害リスクの低減・回避

【例】災害の危険性の高いエリア（家屋倒壊等氾濫想定区域や土砂災害警戒区域等）からの居住の誘導 / 雨水貯留施設の整備による水害リスクの低減に向けた雨水・排水対策（雨水貯留施設の整備、既存道路の改良、水路・側溝の改修等） / 総合的な治水対策の検討（国や県と連携した流域治水の推進等） / 浸水想定区域内での開発と合わせた水害対策の指導要請支援 / 土砂災害の防止に向けた事業者への指導 等

② インフラの老朽化対策強化

【例】上下水道施設等ライフラインの更新・耐震化 / 道路や橋梁、遊具の更新・長寿命化 等

③ 災害に強い住生活環境への改善

【例】住宅密集地等の防災機能強化や私道も含めた狭あい道路の交通環境の整備、防火対策の推進 / 浸透性の高い舗装整備の促進 / 空き地・空き家を活用したオープンスペースの創出 / 防火・準防火地域の指定による防火対策の推進 / 防火地域の指定防火・準防火地域での防火対策の推進 / 建築物耐震改修促進計画の運用によるさらなる住宅の耐震化の促進 / 建築物の耐火の促進 / 老朽化マンションの管理 / 建物の更新・維持管理 / 災害リスクのあるエリアへの福祉施設等の立地抑制 等

■ 災害が発生しても円滑に復旧できる準備を整える

④ 発災時の核となる防災拠点の形成

【例】震災や水害に対応した避難場所の機能確保 / 基地跡地や内間木公園などの防災拠点化の検討 等

⑤ 避難・救助しやすい道づくり

【例】幅員や平坦性を確保した避難経路の確保災害時の避難経路の確保・充実 / 消防車、救急車が通ることができる道路の整備 / 鉄道を横断するアンダーパス部等の浸水対策の検討 等

⑥ 物資や人を運びやすい道づくり

【例】緊急輸送道路の整備都市計画道路の整備による広域的な緊急輸送道路のネットワークの確保 / 緊急輸送道路の無電柱化の促進 等

■ 日頃の生活から「もしも」を見据えた環境をつくる

⑦ 日常から災害に備えるまちづくり

【例】ハザードマップ等の情報の周知 / 植栽と貯水性を兼ね備えた機能の整備 / 災害時を考慮したベンチ等の導入 / 東京都朝霞浄水場との連携による災害時の連絡体制強化 等

⑧ 犯罪の芽を摘む死角のない環境づくり

【例】道路や公共空間における十分な照度の確保 / 住宅地や公共空間における見通しの向上（北朝霞駅北口広場等） / 空き家の解消 / 防犯カメラの設置 等

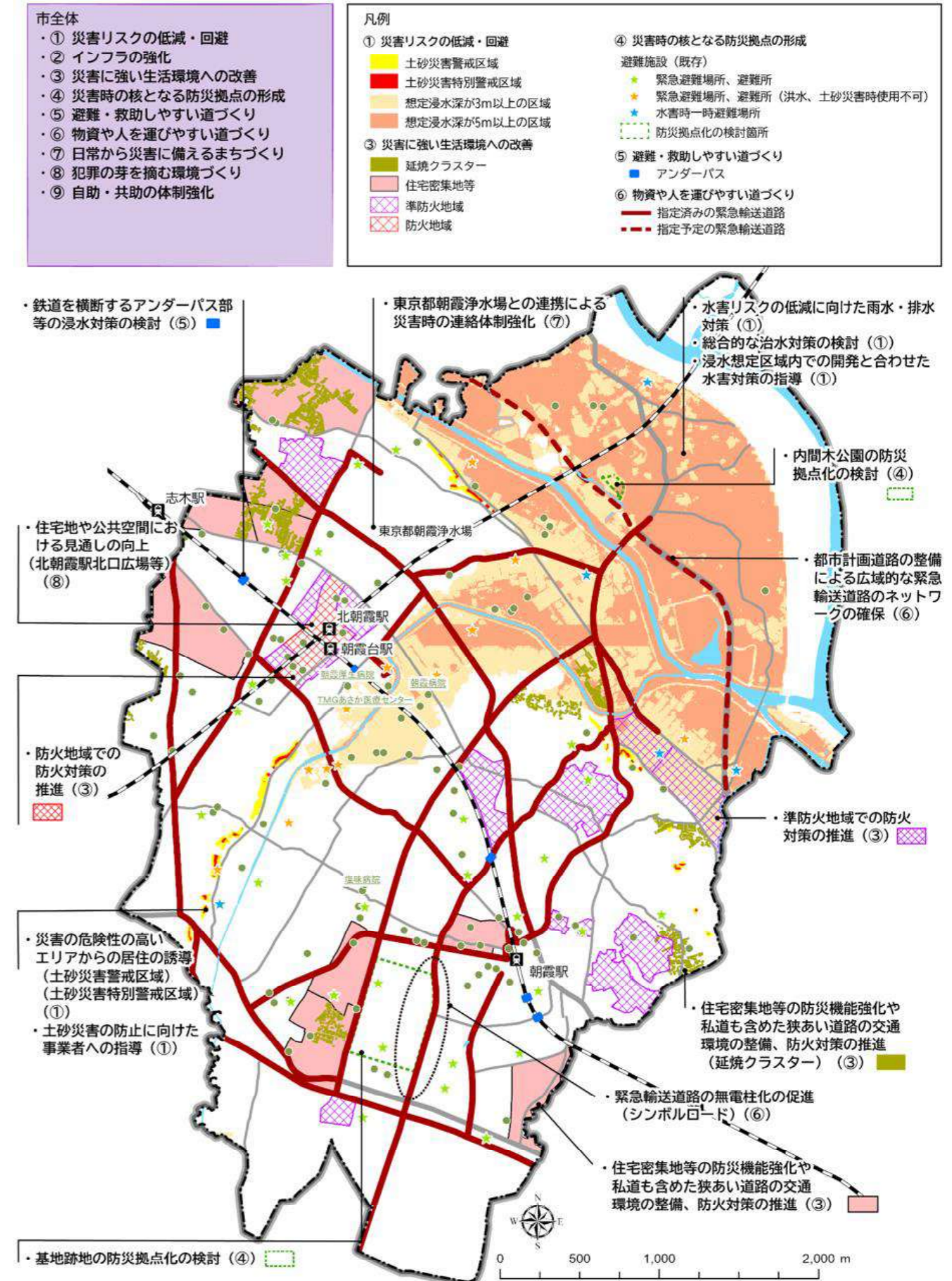
⑨ 自助・共助の体制強化

【例】防犯・交通安全の取組など日頃の地域活動を通じた顔の見える関係づくり / 地域との防災まちづくりの推進（防災意識の向上） / 災害時に支援が必要な方を含む地域コミュニティでの連携促進 等

■ 身近な生活道路の安全を守る

※交通安全に関する取組はテーマ【安全・安心】にも関わることから、テーマ【快適な移動】における「身近な生活道路の安全を守る取組」と連携した取組を推進します。

<方針図（案）>



4-2) テーマ「自然・環境」

<方針>

みずとみどりのある朝霞らしい風景を守り、親しみ、  
未来のこどもたちに胸を張って残せる持続可能なまちを目指します。

<方針の実現に向けた取組（案）>

■ 持続可能な未来につながる気候変動に対応する

- ① 環境配慮（脱炭素）の視点からも選択できる移動手段の確保  
【例】 地域公共交通の利用促進 / シェアサイクル等の環境に優しいモビリティの選択肢の確保 等
- ② 環境にやさしい公共空間の整備  
【例】 公共施設の屋上・壁面緑化、レインガーデン整備 / グリーンインフラの考え方を取り入れた公共空間の整備 / 建設工事における分別解体及び再資源化などリサイクルの推進と、木材の再利用及び県産木材の利用促進 等
- ③ 環境にやさしい住宅の整備促進  
【例】 創エネ・省エネ設備の整備促進 / 長期優良住宅等の認定 等

■ 豊かな自然を育みつなぐ

- ④ 生き物が集うみず・みどりの保全みどりを整える  
【例】 河川のしゅんせつ（川底の土砂等の掘り上げにより、大雨時の河川氾濫の抑止だけでなく、川の水質改善等の効果が期待される） / 既存公園の水・緑の維持管理などまとまったみどりの保全や維持管理等による質的向上 / 内間木公園の拡張整備 / 緑地や斜面林の保全 / 関係団体と連携した湧水・河川の保全・維持管理 / 水辺空間の保全・活用 / 特定生産緑地の指定などによる生産緑地・農地の維持 / 河川敷の整備、植栽（桜並木等）の維持管理 等
- ⑤ みず・みどりを育てる支える  
【例】 駅前広場・道路・公共施設等における花壇（プランター）づくり / 市内に残る貴重な水と緑みどりの拠点・軸のネットワークの形成・利活用 / グリーンインフラによる機能性と環境への配慮を両立した施設整備の推進 / 公園等アダプト制度の普及・利活用 等
- ⑥ みず・みどりの普及を楽しむ  
【例】 緑みどり・河川（緑地や農地、河川等）を生かしたイベントの実施 / 生垣設置の奨励 / 開発事業等における緑化や広場・公園の設置指導 等

■ 朝霞らしい風景を守り育てる

- ⑦ 協働による景観づくり  
【例】 景観についての啓発周辺環境や景観に配慮した土地利用の誘導 / 景観樹木の募集・指定 / 景観重要公共施設の指定・管理 / 景観重要樹木の募集・指定・管理 / 景観づくり団体の募集・補助 / 旧川越街道や旧高橋家住宅などの歴史的文化的資源の保全とまちづくり資源としての活用 等
- ⑧ みずみずしい風景を生かした自然景観への誘導  
【例】 景観計画による地域特性に応じたゾーンの指定景観づくりの推進 / 黒目川や新河岸川周辺の景観づくり重点地区の指定の検討・届出制度の運用 / 基地跡地や黒目川周辺の景観重点地区での良好な景観づくりの推進 / 景観計画に基づく景観の届出・運用 / 景観ガイドラインの作成 等

<方針図（案）>





3) テーマ「快適な移動」

<方針>

多様な交通手段でつながる、  
安全で快適な移動環境のある人にやさしいウォーカブルなまちを目指します。

<方針の実現に向けた取組（案）>

■ まちの骨格となる幹線道路の交通流を円滑にする

① 幹線道路の整備

【例】都市計画道路や主要幹線道路の整備 / 長期未整備都市計画道路の計画の見直し 等

② 既存道路の改良

【例】既存道路や橋梁の適切な維持管理 / 交通実態に合わせた道路や交差点の改良 / 持続的な公共交通の運行に向けた道路拡幅整備 / 老朽化した側溝の改修 等

③ 自転車で走りやすい道づくり

【例】自転車専用通行帯等の自転車通行空間の整備 等

■ 身近な生活道路の安全を守る（※テーマ「安全・安心」と連携して取組を推進）

④ 安全に生活できる身近な道づくり

【例】道路の拡幅や自転車専用通行帯等の整備、自転車専用レーンの導入による連続した歩行空間や自転車走行空間の確保 / 道路整備基本計画に基づく計画的な生活道路整備 / ゾーン30プラスなどによる面的な交通安全対策 / 自転車の乗り方のルール の普及・啓発 / 幹線道路の整備に伴う周辺道路を含めた交通安全対策 / 朝霞駅南口周辺地区交通安全対策基本構想に基づく交通安全対策 等

⑤ こどもの未来を守る通学路づくり

【例】通学路や危険な交差点等における安全対策の充実 / 歩道橋の維持管理 等

⑥ 荷捌きと駐車場の適正化

【例】物流を支える荷さばきスペースや駐車場の確保 / 駅周辺の駐輪場や駐車場の適正配置への誘導 等

■ 自由な移動を支える

⑦ どこに住んでいても自由に移動できる多彩な交通手段の充実

【例】地域公共交通計画の運用による地域公共交通の充実 / 交通事業者との連携による路線バスの確保・維持 / 公共交通空白地区の解消に向けた新たな公共交通の導入、多様な移動手段の検討 / 持続可能な公共交通の運行に向けた道路拡幅整備など取組の推進 / シェアサイクル等の目的地までの最後の区間を補う交通手段の確保 / 隣接する自治体との広域的な交通手段導入の検討 / 朝霞駅駅の建替に伴う駅前広場の再編及び周辺環境の整備機能検討 等

⑧ 誰もがたづまづかなくて通れる道づくり（⑨に統合）

【例】駅周辺や道路における段差解消（バリアフリー化）やユニバーサルデザインにも配慮した人中心のウォーカブルな空間確保 / 河川沿いの遊歩道の整備 / ユニバーサルデザイン化 等

⑨ 人中心の歩きたくなる道づくり

【例】駅周辺や道路における段差解消（バリアフリー化）やユニバーサルデザインにも配慮した交通結節機能の強化 / 人中心のウォーカブルな空間確保 / 河川沿いの遊歩道の整備 / ユニバーサルデザイン化 / まちなかベンチの設置 / ポケットパークの整備 / 木陰がある道の整備、木陰のある休憩施設の整備 / 歩道ネットワークの形成 等

<方針図（案）>



2-4) テーマ「にぎわい・活力」

<方針>

四季折々のイベントが充実し笑顔が絶えないワクワクするまち、  
鉄道駅や道路ネットワークを生かした活力のあるまちを目指します。

<方針の実現に向けた取組(案)>

■ にぎわいと活力のある駅前拠点をつくる

① 朝霞駅周辺の活気あるまちづくり

【例】駅周辺の利便性を生かした商業機能の充実 / 公共空間や地域資源を活用したイベント等を官民連携での実施 (ASAKA STREET TERRACE など) / 地区計画を活用した駅周辺と一体的なにぎわいや活力の創出 / 定期的な小規模イベントの開催 / イベント企画者の発掘・育成 / 回遊性の高い歩道・広場の設置や充実 等

② 北朝霞駅・朝霞台駅周辺の活気あるまちづくり

【例】公共空間や地域資源(浄水場等)を活用したイベント等を官民連携での実施 / 定期的な小規模イベントの開催 / 各駅前広場の機能分担の検討 / 北朝霞駅西口ロータリーの広場化 / 地区計画によるエリアの創出 駅周辺での地区計画(壁面後退、用途制限)を活用したにぎわい・魅力ある空間の創出 / 黒目川周辺イベントとの連携 / 朝霞台駅舎の建て替えに合わせたにぎわい空間の創出 等

③ 誰もが楽しく歩ける空間の整備

【例】地区計画による歩行空間の確保 / 駅周辺の(まちなか)ベンチの整備 / 駅周辺の主要道の交通規制 / バリアフリー化と交通結節機能強化 駅周辺におけるバリアフリーやユニバーサルデザインにも配慮した交通結節機能強化 / 人中心のウォークラブルな空間確保 / 建物の1階部分(アイレベル)のオープン化による歩いて楽しい空間の形成 / 空き地や空き店舗などを活用した都市機能の充実 等

■ 安心して産業活動ができる環境を整える

④ 工業系地域における、居住環境にも配慮した生産環境の確保

【例】地区計画による建物用途の制限 / 工場と居住などを隔てる緩衝緑地等の整備 / 用途地域の見直し 等

⑤ 企業と住民で共につくる地域経済の活性化

【例】企業と地元住民の交流支援 市内に立地する企業等との連携・協働 等

⑥ 立地特性を生かした戦略的な産業の誘致・育成

【例】国道254号バイパス沿道の活性化に向けた都市計画の検討 / Park-PFIなどを活用した内間木公園の整備 / あずま地区の利活用に向けた検討支援 / 広域幹線道路沿道の特性を生かした産業用地の創出 / 大規模工場跡地の適正な利活用 / 魅力ある産業の誘致 等

■ 立地特性を活かして戦略的に産業を誘致・育成を図る(⑥として上記に統合)

⑥ 広域幹線道路沿道の特性を生かした産業用地の創出

【例】国道254号バイパス沿道の活性化に向けた都市計画の検討 / 地区計画による適正な土地利用の誘導 / 沿道周辺の地区計画や土地区画整理事業の活用 等

⑦ 新たな産業機能の導入

【例】大規模工場跡地の適正な利活用 / 魅力ある産業の誘致 等

■ 地域資源を生かして活力を創出する

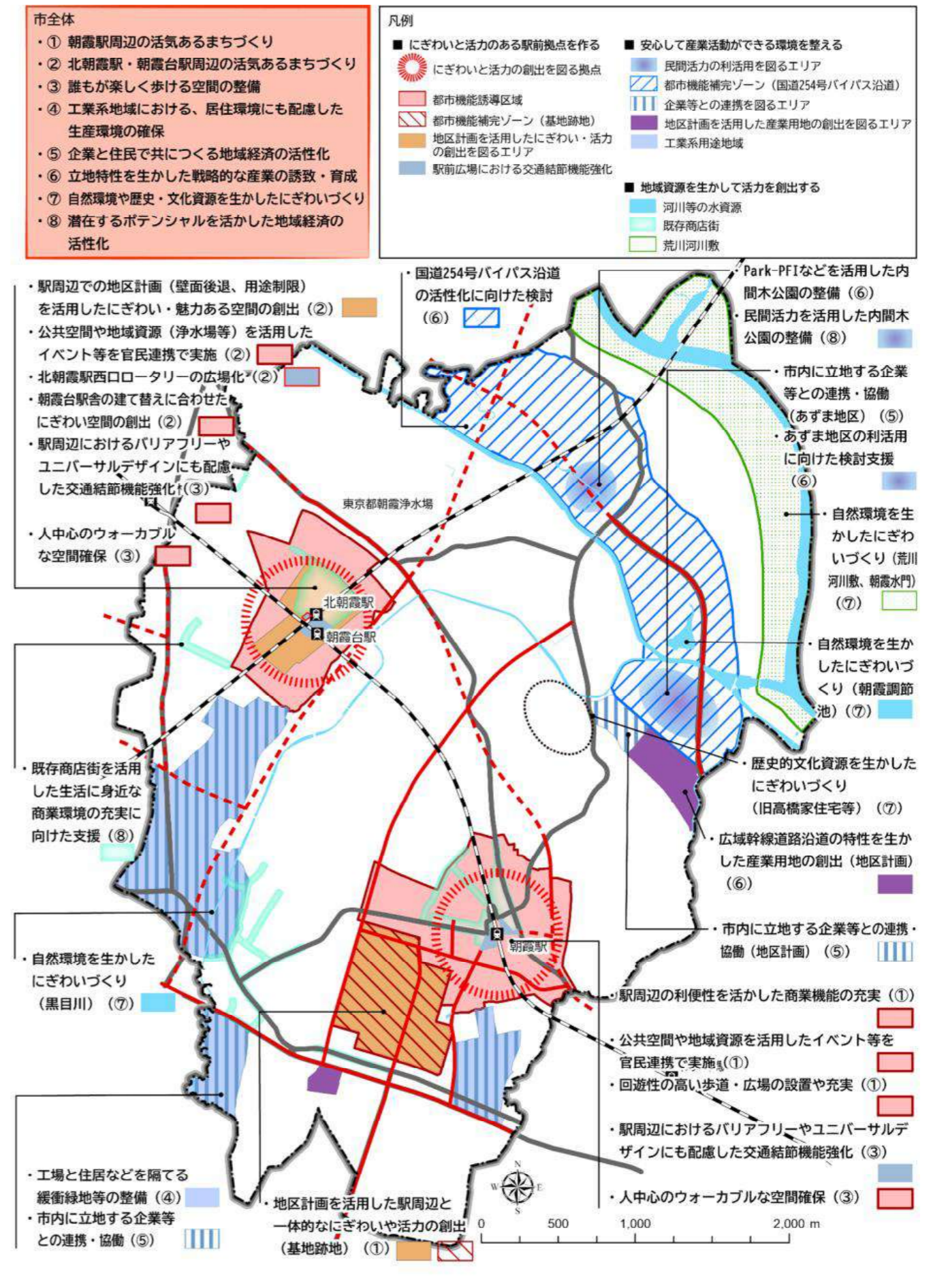
⑦ 自然環境や歴史・文化資源を生かしたにぎわいづくり

【例】黒目川や農地、斜面林等の自然環境を生かしたにぎわいづくり / 旧川越街道や旧高橋家住宅などの歴史的文化資源を生かしたにぎわいづくり 等

⑧ 潜在するポテンシャルを活かした地域経済の活性化

【例】既存商店街を活用した生活に身近な商業環境の充実に向けた支援 / 民間活力を活用した内間木公園の整備 等

<方針図(案)>



±5) テーマ「私らしい暮らし」

<方針>

自然と利便性が共存するコンパクトな住宅都市であることを生かし、  
一人ひとりが**私らしく**いきいきと暮らせるまちを目指します。

<方針の実現に向けた取組(案)>

■ **市街地と自然をつなぐ、選択肢のある住環境を整える** ※交通に係る取組は「快適な移動」で対応

- ① **歩いて暮らせる歩きたくなる駅近な地域づくり**  
【例】どの世代でも暮らしやすいバリアフリーに対応した交通結節点の整備 / マイカーに依存しないシェアサイクル等の交通手段の確保(※) / 騒音に悩まない駅前周辺のルール作り 等
- ② **駅とみどりをつなぐ、公共交通で移動しやすい地域づくり(③と統合)**  
【例】交通利便性の高いバス路線の維持 / シェアサイクル等の選択できる移動手段の確保 等
- ②③ **利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり**  
【例】住宅密集地における生活道路の拡幅 / 地区計画や景観協定、建築協定を活用した自然環境と調和したまちなみ住環境の維持・向上 / 公園等のオープンスペース公共空間の確保・利活用 / グリーンインフラを取り入れたベンチの設置 等
- ③④ **みずとみどりに恵まれた穏やかな地域づくり**  
【例】公共交通空白地区の解消に向けた新たな公共交通の導入(※) / 残存するみどりや農地の保全による集落地環境の維持 / 自然との共存に配慮した土地利用の推進 / 内間木公園の拡張整備 / 市街化調整区域での無秩序な開発抑制 / 教育や文化・福祉などの機能充実の検討 / 排水処理機能の向上の促進 等

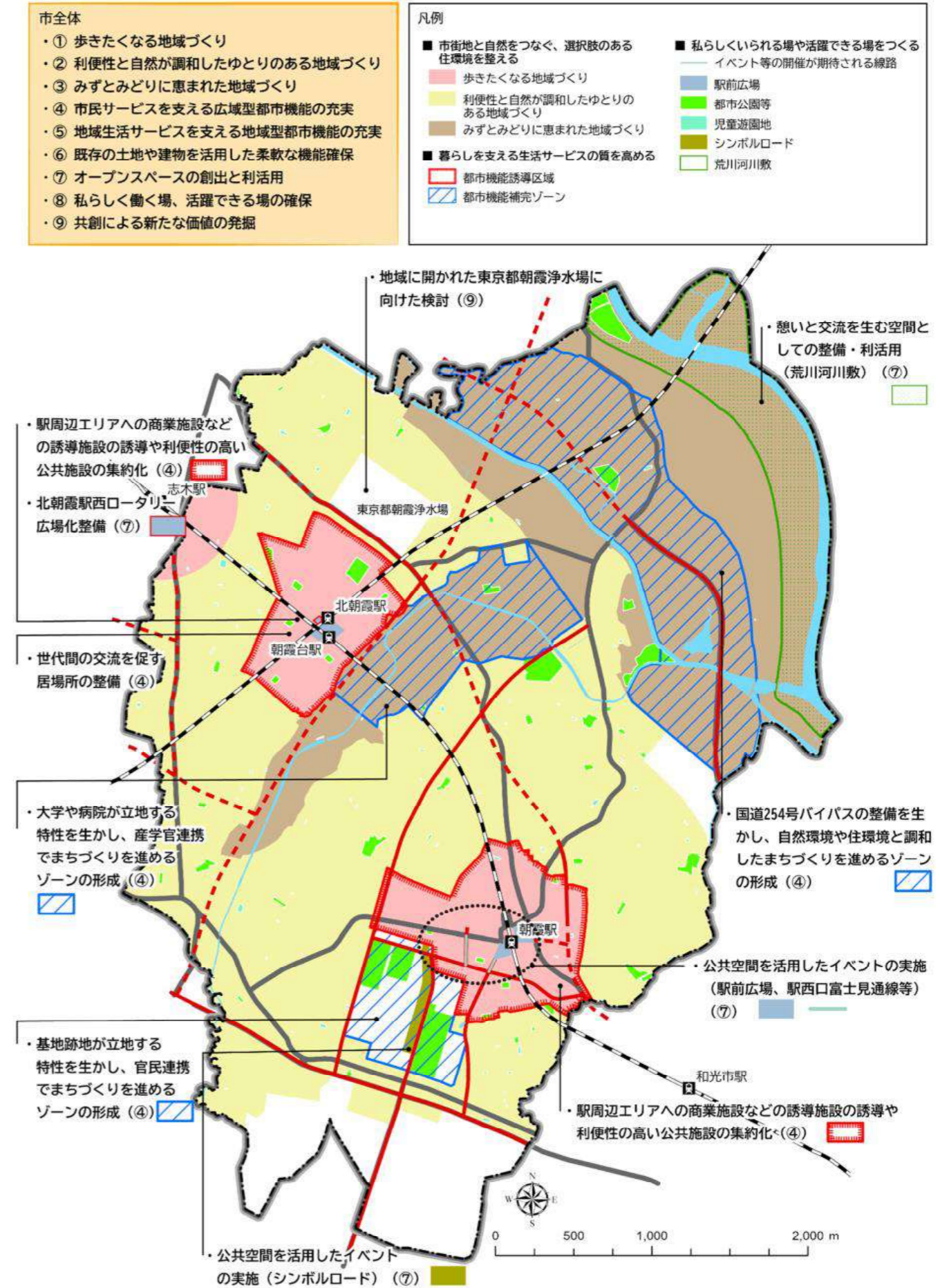
■ **暮らしを支える生活サービスの質を高める**

- ④⑤ **市民サービスを支える広域型都市機能の充実**  
【例】駅周辺のエリアへの商業施設などの誘導施設の誘導や利便性の高い公共施設の集約化 / 公共施設の立地・あり方の検討 / 都市機能補完ゾーンにおける取組の推進 基地跡地が立地する特性を生かし、官民連携でまちづくりを進めるゾーンの形成 / 大学や病院が立地する特性を生かし、産学官連携でまちづくりを進めるゾーンの形成 / 国道254号バイパスの整備を生かし、自然環境や住環境と調和したまちづくりを進めるゾーンの形成 / 福祉等複合施設の整備 世代間の交流を促す居場所の整備施設立地(高齢者支援施設のまちなかへの誘導) / 駅・黒目川・黒目川沿いの公共公益施設の回遊性向上 等
- ⑤⑥ **地域生活サービスを支える地域型都市機能の充実**  
【例】地域ごとの都市機能の適正配置 等
- ⑥⑦ **既存の土地や建物を活用した柔軟な機能確保**  
【例】既存ストックのリノベーション / 空き家・空き店舗の利活用 / 公共施設の集約化・複合化、転用 等

■ **自分私らしくいられる場や活躍できる場をつくる**

- ⑦⑧ **オープンスペースの創出と利活用**  
【例】交流スペース等の整備 / リノベーションによる新たな公共空間の創出 / 北朝霞駅西口ロータリー広場化整備 / 道路公共空間を活用したイベントの実施(ASAKA STREET TERRACE など) / 公園や広場の利活用(規制緩和) / 公共空間を活用する人材の支援 / 鉄道高架下空間の利活用 / 内間木公園や荒川河川敷、朝霞調節池等を憩いと交流を生む空間としての整備・利活用 等
- ⑧⑨ **私らしく働く場、活躍できる場の確保**  
【例】コワーキングスペース等の確保 / ローカルビジネス、スタートアップ企業を育てる場の創出 / シンボルロードの歩行者利便増進道路指定(道路を通行以外の目的で柔軟に使用できるようにする制度) 等
- ⑨⑩ **共創による新たな価値の発掘**  
【例】産学官民連携による共創の場(地域課題と人材・技術をマッチングする場)づくり / 地域に開かれた東京都朝霞浄水場に向けた検討 等

<方針図(案)>



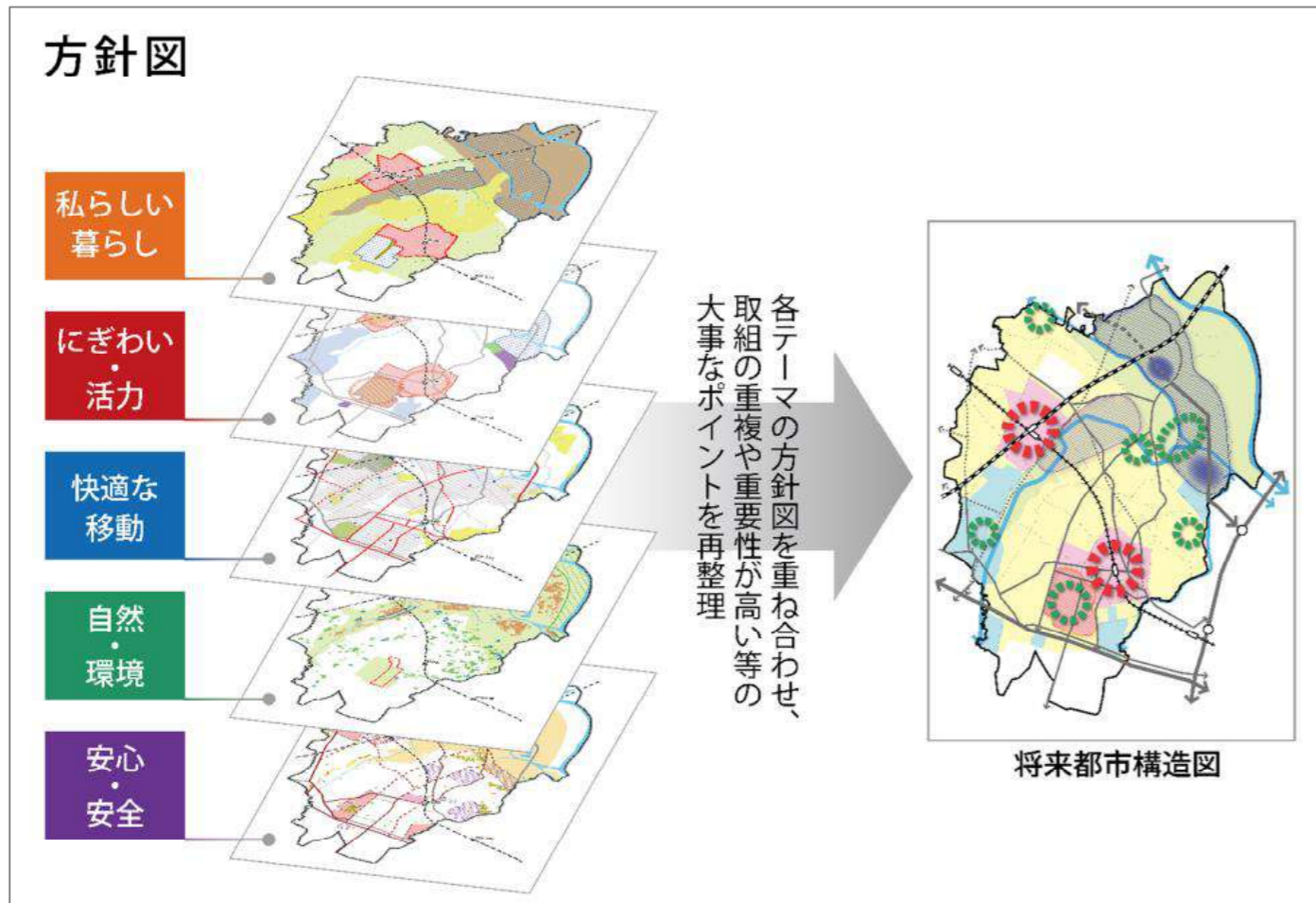
### (3) 将来都市構造

将来都市構造は、目指すまちづくりの将来像を実現するため、本市の特徴・課題を踏まえた将来あるべき「都市の骨格イメージ」を明らかにするものです。

将来都市構造の構成要素として、行政サービスや医療・福祉、商業、文化など都市機能の集積や自然環境の保全の核となる「拠点」、市内及び隣接都市との交通及び自然環境の骨格を形成する「都市軸」、居住環境や土地利用の状況に応じた土地利用方針を表す「ゾーン」を設定し、それぞれの方針を示します。

上記の将来都市構造の構成要素は、各テーマの方針図を踏まえ、その重ね合わせから取組の重複や重要性の高い等の大事なポイントを抽出し再整理したものです。

#### ■将来都市構造図と各テーマの方針図の関係



<将来都市構造図>

